

# 年報

No.24



平成5年度  
佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

## は じ め に

このたび、年報 24 号（平成 5 年度事業）を刊行することになりました。  
当年度、博物館の常設展では「佐賀県の歴史と文化」のほかに、「日本の蝶」、「わらの民具」などいくつかのテーマ展示を行いました。

美術館では「近代の美術・工芸」をテーマとした常設展のほか、「染色NOW」や「古賀忠雄・デッサンと形」などのテーマで皆さんの関心の深い資料を多角的に紹介しました。

企画展は、「音の結ぶ世界展」（博物館）、「岡田三郎助展」、（美術館）を開催し好評を得ました。そのほかに、「北京故宮博物院展」などの共催展などが催され多数の県民が来館されました。

また、今年度も当館独自の資料収集のほか、多くの方々から貴重な展示資料の寄贈・寄託を受け、当館の資料が年ごとに充実しつつあることに、心から感謝しております。

今日、余暇時間の増大・ライフスタイルの多様化に伴い、人々の文化や芸術に対する期待が高まっており、生涯学習・地域文化の拠点施設として、当館の果たす役割も増え大なるものがあると思われます。

このような状況の中で、「県民に親しまれる開かれた博物館・美術館」をめざし、環境及び展示施設の整備、増加する資料の保管・職員研修の充実などの課題を克服すべく、館員一同懸命に努力いたしております。

どうか、今後とも関係各位の御指導、御支援を心からお願い致します。

平成 6 年 8 月 31 日

佐賀県立博物館長 山本 敏秋  
佐賀県立美術館長

## 目 次

佐賀県立博物館及び美術館日誌	4
同組織／職員名簿／人事異動	5
同協議会委員	6

### 佐賀県立博物館

博物館の沿革	7
規模および施設／歳出予算	8
事業の実施状況	
1 常設展	9
2 企画展「音の結ぶ世界」	16
3 資料調査	17
4 観覧状況	18
5 普及活動	20
資料の概要	
1 購入資料	22
2 寄贈資料	22
3 寄託資料	23
4 資料の貸出状況	24
5 購入図書	25
茶室「清恵庵」の管理と運営の概要	26

### 佐賀県立美術館

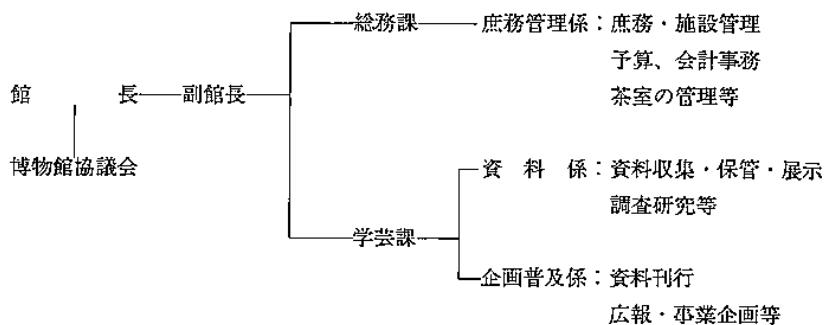
美術館の沿革	27
規模および施設／歳出予算	28
事業の実施状況	
1 常設展	29
2 企画展	
・「開館 10 周年記念 日本近代洋画の榮華－岡田三郎助－」展	34
3 「古賀忠雄 彫刻の森」整備事業	35
4 普及活動	36
5 資料調査	37
6 観覧状況	38
7 ホール・画廊・研修室利用状況	40
資料の概要	
1 新収蔵（購入・寄贈）資料	41
2 寄託資料	49
3 資料の貸出状況	49
4 購入図書	49
平成 6 年度職員名簿	50

## 佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館日誌

平成5年

- 4月1日 職員人事異動（5頁参照）。
- 4月17日 有田VOCの案内で、ドイツ公使一行来館。
- 4月20日 ロンドン大学副総長J.ホワイト氏、他5名、幕末、維新期の資料調査のため来館。
- 5月5日 常設展無料開放（こどもの日）。博物館の入館者数603名。
- 6月15日 博物館収蔵庫くん蒸消毒（17日まで）。
- 6月18日 韓国MBCより朝鮮出兵関係資料の取材のため来館。
- 6月26日 学校教育課の案内で海外教員団来館。
- 6月27日 博物館講座「はじめて海を渡った佐賀人」（九州大学大学院生アンドリュー・コビング氏講師）。150名受講（21頁参照）。
- 6月30日 博物館学実習開講（7月9日まで）。17名受講。
- 7月16日 県内社寺調査一次調査報告会。
- 7月19日 デッサン教室開講（深川善次氏講師、23日まで、36～37頁参照）。
- 8月7日 親と子の映画会開催。
- 10月8日 美術館開館10周年記念「日本近代洋画の栄華－岡田三郎助－」展開場式（34頁参照）。
- 10月16日 韓国中央博物館申大坤氏来館。
- 10月19日 鍋島蘭子氏、美術館企画展見学のため来館。
- 10月27日 文化庁美術工芸課主任文化財調査官鈴木則夫氏来館。
- 11月3日 常設展無料開放（文化の日）。博物館入館者数222名。
- 11月10日 中国上海博物館文化交流弁公室主任丁義忠氏、他3名来館。
- 11月18日 日韓文化交流展開場式。
- 12月1日 北京故宮博物院展開場式。
- 12月28日 執務納め式。
- 平成6年
- 1月4日 執務始め式
- 1月15日 常設展無料開放（成人の日）。入館者数博物館250名、美術館218名。
- 1月26日 東京都教育文化財団理事長水上忠氏、他2名博物館視察。
- 2月4日 宮内庁書陵部編修課西川氏、他2名、昭和天皇行幸関係資料調査のため来館。
- 2月7日 東京国立文化財研究所井出誠之助氏、他1名パソコン研修指導のため来館。
- 2月18日 博物館企画展「時代をかなでた楽器－音の結ぶ世界－」展開場式。
- 2月19日 中華人民共和国国家文物局文物二處王軍副處長来館。
- 3月18日 「古賀忠雄彫刻の森」整備事業のため、古賀忠雄氏作品設置。
- 3月25日 空気調和設備改修工事終了。
- 3月29日 「古賀忠雄彫刻の森」開園式。

## 組 織



博物館・美術館職員名簿（平成5年4月1日現在）

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
総務課	館長	飯盛邦尚	学芸課	学芸課長	木下巧
	副館長	森醇一郎		資料係長	蒲原宏行
	総務課長 (庶務管理係長事務取扱)	菊池文夫		主査 (学芸員)	川副義敦
	専門員	一丸正美		主事 (学芸員)	山崎和文
	庶務管理係 主査	東島幸子		主事 (学芸員)	竹下正博
	主事	赤星由季子		非常勤嘱託	今川泰靖
	主事	石橋邦広		企画普及係長	松本誠一
	技術員	近藤誠徃		主査 (学芸員)	宮原香苗
	事務員	坂井卓次		主査 (学芸員)	福井尚寿
	事務員	小石武彦		主事 (学芸員)	中原正登
非常勤嘱託			計 21名		

人事異動（平成5年4月1日付）

転入			転出		
館長	飯盛邦尚	人事委員会事務局長より	館長	武藤佐久二	保健環境部次長へ
副館長	森醇一郎	文化課参事より	副館長	小宮睦之	退職
主査	東島幸子	佐城教育事務所主査より	資料係長	宮崎武夫	県立塩田工業高校教諭へ
学芸員	中原正登	県立白石高等学校教諭より	主査	古賀恭子	佐城教育事務所主査へ
技術員	近藤誠徃	神埼保健所より	技術員	戸川内匠	退職

## 佐賀県博物館及び美術館協議会

委員名簿(定数 14名)

任期: 平成4年7月25日~平成6年7月24日

区分	氏名	役職名	住所
社会教育関係者	宮地秀雄	佐賀県公民館連合会常任理事	〒842 神埼郡千代田町下西612-8
	北村 照	佐賀県高等学校校長協会	〒843 武雄市武雄町大字武雄7365
	尾形喜次郎	佐賀県小中学校校長会	〒846 多久市北多久町小寺1112
	森田喜久也	佐賀県理科教育振興会	〒840 佐賀市本庄町大字袋369-7
学識経験者	松本シゲノ	佐賀県地域婦人連絡協議会会长	〒840 佐賀市嘉瀬元町2078
	大塚巖	佐賀県文化団体協議会会长	〒840 佐賀市本庄町本庄1137-23
	吉田進一	佐賀美術協会理事長 (九州龍谷短大教授)	〒840-22 佐賀郡川副町大井道47
	岩田英則	佐賀県議会議員 (文化厚生常任委員会委員)	〒840 佐賀市中央本町2-11
	中村質	九州大学文学部教授	〒813 福岡市東区美和台7-17-8
	深川善次	佐賀美術協会理事	〒840-23 佐賀郡川副町大字南里557-3
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	〒840 佐賀市赤松町7-13-302
	佐田茂	佐賀大学教育学部教授	〒815 福岡市南区高宮2-9-27-303
	錦織亮介	北九州大学文学部教授	〒811-02 福岡市東区高美台1-1-7
	吉野徳親	佐賀新聞社編集局長	〒840 佐賀市大財4-4-3

## 開催状況

## (第1回)

- ・平成5年7月14日(水) 於: 県立博物館 応接室
- ・議題
  - ア 平成5年度予算及び特別企画展について
  - イ 博物館、美術館の企画展及び常設展の観覧料無料化について
  - ウ 博物館、美術館の入館者(高校生以下)について
  - エ 平成5年度主要事業について
  - オ その他

## (第2回)

- ・平成6年2月18日(金) 於: 県立博物館 応接室
- ・議題
  - ア 平成6年度予算(案)について
    - イ 平成6年度企画展及び主要事業(案)について
    - ウ 企画展の入館者状況について
    - エ その他

平成 5 年度

佐賀県立博物館

## 博物館の沿革

- 昭和26年 4月 1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年 4月 1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年 1月 21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和45年 3月 31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年 4月 1日 佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年 7月 1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施工。博物館開設準備事務局廃止。
- 博物館職員の発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年 7月 16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館式典挙行。
- 昭和47年 3月 4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。
- 茶室落成式。
- 昭和50年 9月 20日 古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ) 前庭に据付完成。
- 昭和51年 9月 18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」(復元) 玄関前据付完了。
- 昭和53年 5月 4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月 5日 茶室「清恵庵」開室 5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
- 昭和54年 7月 19日 入館者総数100万名に達する。
- 昭和55年 4月 23日 古賀忠雄氏遺作(232点) 遺族より寄贈。
- 昭和56年 4月 17日 山口猛彦氏遺作(34点) 遺族より寄贈。
- 昭和57年 5月 10日 鍋島則子氏より工芸品(85点) 寄贈。
- 昭和58年 2月 7日 御厨俊江氏より御厨純一氏の作品(28点) 寄贈。
- 昭和61年 3月 17日 佐賀植物友の会(須古将宏会長) から植物腊葉(さくようーおしば) 18,000点の寄贈。
- 昭和62年 5月 23日 天皇陛下、「森林と文化展」ご観覧のためご来館。
- 昭和63年 4月 15日 入場者総数200万名に達する。
- 昭和63年 8月 31日 木材恒久保存処理機 夕吹2000を導入。
- 平成 2年 3月 31日 過去最高の入館者数189,000名を記録(平成元年度の入館者数)。
- 平成 2年10月 6日 佐賀県立博物館開館20周年記念「佐賀の名宝—いろいろとかたち—」展を開催。
- 平成 4年 3月 30日 佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館の使用料に関する条例の一部改正。  
(高校生以下及び心身障害者等の無料化)(施行 4. 4. 1)。
- 平成 4年 8月 6日 第1回県内社寺調査委員会(以後、4年計画の調査に入る)。
- 平成 4年 8月11日 紀宮清子内親王殿下、御視察。
- 平成 5年 3月 25日 空気調和設備改修。
- 以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。
- ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

## 規模および施設

本 館		施 設	
構 造	鉄筋コンクリート造	ロビー (案内所・常設展受付)	349.5m <sup>2</sup>
規 模	敷地面積	1号展示室	193.6m <sup>2</sup>
	建築面積	2号展示室	352.0m <sup>2</sup>
	延床面積	3号展示室	484.0m <sup>2</sup>
		大展示室	523.5m <sup>2</sup>
		中展示室 (博物館教室)	136.0m <sup>2</sup>
		収蔵庫並整理室	524.0m <sup>2</sup>
茶 室		研究室	66.0m <sup>2</sup>
		館長室・応接室	60.0m <sup>2</sup>
構 造	木造平屋建	事務室	80.0m <sup>2</sup>
規 模	床面積	資料調査室	64.0m <sup>2</sup>
		茶道具庫	24.0m <sup>2</sup>
		車 庫	56.0m <sup>2</sup>
		荷解場	86.0m <sup>2</sup>
駐輪場		電気室	48.0m <sup>2</sup>
		ボイラー室 (制御室を含む)	181.0m <sup>2</sup>
構 造	軽量鉄骨平屋建	その他	1,410.4m <sup>2</sup>

## 歳出予算

科 目	予算額 (単位千円)	科 目	予算額 (単位千円)
(博物館費)			
1 博物館運営費	40,985	4 企 画 展 費	19,866
管理運営費	37,694	企画展開催費	18,218
会議及び研修費	506	企画展紹介費	1,648
博物館協議会費	417	5 常 設 展 費	2,349
非常勤嘱託報酬	2,368	常設展示費	2,349
2 資料整備費	15,191	6 普 及 活 動 費	35
資料購入費	8,000	研究講座費	35
資料整理費	6,966	7 資 料 刊 行 費	468
資料収集費	225	8 茶 室 管 理 費	221
3 調査研究費	812	9 施 設 整 備 費	18,123
研 究 費	155	10 佐賀県寺社資料調査費	3,000
調 査 費	657		
次年度調査費	113		
歴史美術調査費	75		
考古資料調査費	34		
調査刊行費	435	計	101,050

## 事業の実施状況

### 1. 常設展「佐賀県の歴史と文化」

会場 1号、2号、3号、大展示室

内容 自然（1号）・考古（2号）・歴史（2号）・美術（3号）・民俗（大展）の順に展示し、各部門の展示資料を通して佐賀県の歴史と文化を紹介した。概要は次の通り。

#### I 佐賀県の自然

佐賀県は九州の北西部に位置し、北東部は福岡県、西部は長崎県に隣接する。北は対馬暖流が北上する玄海灘に面し、南は日本一の干満の差で有名な有明海が広がっている。

佐賀県を地形的に大別すると、脊振山地、西部丘陵地、多良火山地、佐賀平野の4地域に分けられる。脊振山地は県北部に横たわる脊振山、金山、九千部山などの山地で、古生代末期の三郡變成岩類と、これに貫入した中生代白亜紀の花崗岩類で構成されている。西部丘陵地は八幡岳・黒髪山・国見山などを含む熔岩台地で、新生代第三紀の堆積岩類と、その上に噴出した第三紀末から第四紀初めの各種火山岩類で構成されている。玄海灘に面した北西海岸はリアス式海岸で、島嶼部は西部丘陵地熔岩台地の延長とみられる。多良火山地は、佐賀県最高峰の経ヶ岳・多良岳など第四紀初期に形成された安山岩質の成層火山と熔岩台地で構成されている。佐賀平野は新生代第四紀沖積世に、筑後川・嘉瀬川・六角川などによってつくられた複合三角州で、表層は有明粘土層で下層は洪積世の堆積物が存在する。

佐賀県産の化石は、新生代5000万年前以降にできた第三紀～第四紀の二枚貝・巻貝・オウムガイなどの軟体動物やサメの歯・ナウマンゾウ臼歯などの脊椎動物、メタセコイヤ・ハス・ヤナギ・珪化木などの植物の化石が産出する。

動物では、シギ・チドリ・カモ類など多くの渡り鳥の飛来地・休息地として有明海は日本有数の地であり、現在までに佐賀県から記録された野鳥は300種以上にのぼっている。県鳥カササギは、国の天然記念物として大切に保護されている。アリアケシラウオ・ヤマノカミ・ワラスボ・チクゴエビ・アリアケガニは有明海だけに生息する特産種であり、ムツゴロウは珍魚とし

て有名であるが減少がはなはだしく、県有明水産振興センターでは人工交配による増殖を試みている。また「生きた化石」と呼ばれるオオシャミセンガイ・ミドリシャミセンガイ・伊万里湾のカブトガニ、背振山地・多良火山地のムカシトンボは、地質時代の生き残り生物として有名である。

植物では、山地に常緑広葉樹林を主とした自然林も点在しているが、ほとんどがスギ・ヒノキの人工林となっている。代表的な自然林は、背振山地のブナ林、多良山地のモミ林、背振山地・多良火山地・西部丘陵地のカシ林、玄海灘沿岸、島嶼部のタブ林などがある。佐賀県で発見された原産地植物としてはカネコシダ・クロカミラン・ハガクレカナワラビ・キュウシュウコゴメグサ・リュウゾウジヤナギ・クセンブツツヅキなどがある。この他特筆すべき事項としてミツガシワやエヒメアヤメの自生、またクスノキは佐賀県を代表する樹木である。

#### ①佐賀県のおいたち

佐賀県地形模型、佐賀県の地質・地史

#### ②佐賀県の岩石

球状閃綠岩・花崗岩・石灰岩・火山岩 ほか

#### ③佐賀県の化石

ヨコヤマオウムガイ・シキシマバス ほか

#### ④佐賀県の植物

クロカミラン・カネコシダ・アオホラゴケ ほか

#### ⑤佐賀県の昆虫類

チョウ・トンボ・甲虫類 ほか

#### ⑥佐賀県の野鳥

カササギ・キジ・ヤマドリ・フクロウ ほか

#### ⑦カブトガニの生態

#### ⑧模型類

有明海干潟生態模型

エヒメアヤメ生態模型

森林の生態模型

森林の働きの模型

タイラノサウルス模型ほか

また、下記のコーナー展示を行った。

#### 「干支の動植物」（～7/4）

#### 「日本の蝶」（7/6～8/29）

佐賀県に分布する蝶類を中心に、日本の蝶の生い立ち、日本の蝶相が豊かな理由を標本を展示して解説し

た。また、近年著しく個体数が減少し、絶滅危惧種に指定されているオオウラギンヒョウモンが、1960年頃までは佐賀市北部や大和町に生息していたことを示す標本や、その他の希少蝶類の標本を展示し、その減少の原因を解説した。

#### 「留鳥と渡り鳥」(9/23~2/6)

留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥の例について剥製を展示し、鳥が渡りをする理由、生態系の中での鳥の果たす役割を解説した。また、近年県内で見ることのできなくなった冬鳥のオジロワシ（1975年に伊万里市で捕獲）の剥製を展示した。

このほか1階ロビーにおいて、佐賀市城内のお堀や河川に生息する淡水魚（カゼトゲタナゴ、オイカワ、ドンコなど18種類）を、生態展示した。

### ☆考古

#### 旧石器時代・縄文時代

近年我が国の旧石器文化探求の勢いは目ざましく、10万年以前の前期旧石器文化の様相もかなり鮮明になりつつある。本県の資料は後期から終末期のものに限られるが、多久市鬼の鼻山（安山岩）や伊万里市腰岳（黒曜岩）などの石器素材原産地を中心に特色ある石器文化が展開している。

縄文時代も基本的には採集経済の社会であったが、石器とともに土器が用いられるようになり、人々の食生活は一層安定した。

#### ① 石器を使った人々－旧石器時代－

- 石器に使用された原石
- 旧石器時代末期の各種石器

#### ② 土器を使うくらし－縄文時代－

- 縄文時代早～前期の土器と石器
- 縄文時代中期の土器と石器
- 縄文時代後～晩期の土器と石器

#### 弥生時代・古墳時代

弥生時代になると水稻耕作中心の生産経済社会となり、各集落の統合・離反の中から、やがて部族国家が形成されてゆく。本県は特に大陸文化を受容し、それを日本化していく弥生文化搖籃の地として重要な位置を占める。

古墳時代は前方後円墳に象徴される権力者の抬頭と統一国家形成が進展した政治的激動期であった。同時に須恵器生産や製鉄に代表されるような先進技術が多

くの渡来人によってもたらされた時代でもあった。

#### ① 水稻農耕社会の発展－弥生時代－

- 土器の変遷
- 大陸系磨製石器
- 青銅製武器から鉄製武器へ
- 弥生人の装身具
- 青銅の鏡（船載鏡と仿製鏡）
- 弥生人のまつり（銅鐸・青銅製武器形祭器）

#### ② 古墳が築かれた頃－古墳時代－

- 古墳時代前期の土器－土師器－
- 古墳時代後期の土器－須恵器－
- 古墳時代の鏡
- 古墳時代の武器
- 古墳時代の馬具
- 古墳時代の装身具

### ☆歴史

肥前の戦国時代を征したのは五州二島の太守とうたわれた龍造寺隆信であった。しかし、龍造寺軍が島原半島で有馬・島津の連合軍に負けて隆信が戦死した後は、政権が龍造寺氏から鍋島氏に移ってくる。全国的にも豊臣秀吉によって統一がなされ、文禄・慶長の役での名護屋城の築城は肥前にとて大きな歴史上の出来事であった。

幕藩体制が整ってくると、肥前は、佐賀藩、唐津藩、対馬藩の領地に分かれ江戸時代の太平の世が続くが、長崎警備を命じられた佐賀藩は、幕末には西洋の先端技術を取り入れ、やがて起こる維新の一翼を担うことになる。これらは「はがくれ」を生む風土の中に儒学、武芸の隆盛と相まって多くの人材を輩出し近代日本の礎を築いた。

主要な展示資料は次のようなものがあります。

- 龍造寺隆信・政家・高房画像、龍造寺隆信感状、紺糸威桶側二枚胴具足（伝隆信着用）、鍋島直茂・勝茂画像や自筆の書状など
- 肥前名護屋城図屏風、慶長の役陣立て、朝鮮國札曹諭告文など
- 長崎警備図屏風（宝永2年・正保4年）、幕末の対外関係図など・鍋島直正肖像画、直正書、忠宣公蘭艦乗込絵図、暇夷開拓勅書など
- 大銃製造方絵図、公儀御石火矢鋳立方絵図、佐賀藩精煉方絵図、カノン砲雑型、佐賀藩蒸気車雑型など
- 長崎海軍伝習所の図、佐賀藩三重津海軍所の図、觀

## 光丸模型など

○山本常朝筆山水自賛画、葉隱写本（孝白本外）、天縱殿扁額、聖堂三体像、古賀精里・穀堂書など

テーマ展示「佐野常民」（3号、11/28～12/13）。

また、下記のコーナー展示を行った。

「先覚者の書」（5/23～7/26）

「佐賀の文教」（7/31～11/3）

「樂隱展」（11/15～11/22）

「鍋島直正」（11/28～2/3）

「長崎警備」（3/20～）

## ☆美術

下記のテーマ展示を行った。

「江戸前期の兄弟画家雪山と心海」（3/20～5/9）

※出品目録は、「年報」第23号に掲載。

## 「時代の筆あと一書の魅力一」

会期1993.7.9（金）～8.29（日）

会場博物館3号展示室

## 趣旨

人それぞれの書には豊かな表情があり、また、それぞれの時代には独特的な書風や書体がある。特に毛筆によってなされた書は、筆の柔軟な特性からくるその筆跡から人の感情を微妙に表現することができ、このため書は視覚にうたたえる芸術としても鑑賞されてきた。

展示では、館蔵を含む県内所蔵資料によって平安時代末から明治時代までの書を展示し、今日の活字社会では味わえない書の魅力を紹介した。

1 [県重文] 大般若経1巻 12C/平安 正法寺（佐賀市）寄託

2 書状（若訥宏弁宛） 蘭渢道隆 1幅 1262年/弘長2 円通寺（小城町）蔵

3 遺偈 若訥宏弁 1幅 1293年/永仁1 円通寺（小城町）蔵

4 後醍醐天皇綸旨 1巻 1334年/元弘4（建武1）

円通寺（小城町）蔵

5 元庵普寧墨跡（写） 1幅 16C/室町 寄託

6 古筆手鑑 1冊 17C/江戸編 寄託

7 書状貼交屏風 6曲1双 17C/桃山 寄託

8 五言律詩 洪浩然 3幅 17C/江戸 個人

9 七言絶句四首屏風 洪浩然 6曲1双 17C/江戸

## 鍋島報效会蔵

10 「雲興霞蔚」 細井広沢 6幅 17C/江戸 館蔵

11 泰窓説 林鳳岡 1巻 1677年/延宝5 館蔵

12 四箴 武富廉斎 1巻 1713年/正徳3 館蔵

13 芭蕉・其角・嵐雪像 与謝蕪村 3幅 18C/江戸 個人

14 狂歌 大田南畝 1幅 19C/江戸 個人

15 鎮西八郎詩 頬山陽 2幅 1823年/文政6 個人

16 七言絶句 古賀精里 1幅 1779年/安永8 館蔵

17 七言絶句 市河米庵 1幅 1829年/文政12 個人

18 「めでたくかしく」 貫名菘翁 1幅 1859年/安政6 館蔵

19 七言絶句 鍋島直正 1幅 1870年/明治3 館蔵

20 桜月図 古川松根 1幅 19C/江戸 寄託

21 七言絶句 江藤新平 1幅 19C/明治 館蔵

22 二行書「録旧作」大木喬任 1幅 19C/明治 館蔵

23 七言絶句 乃木希典 1幅 20C/明治 寄託

24 寿詩屏風 西川春洞 2曲1隻 20C/明治 寄託

25 杜甫詩「蜀相」屏風 副島種臣 6曲1隻 1892年/明治25 寄託

26 「万年和平」 中林梧竹 1幅 19C/明治 鍋島報效会寄託

## ☆民俗

郷土の民俗では、歴史を民俗学的視野からとらえ、海・平野部から山間部にいたる諸々の習俗を概観できるよう試みた。

とくに、国の重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は内容・量ともに充実しており、幕末から明治初頭にかけての作と思われる「有明海漁業実況図」（松田房晃・全23図）や干潟生態模型と共に有明海の漁撈習俗を十分に知ることができる。

農業関係の資料としては、明治時代から昭和初期にかけての佐賀のクリーク（堀）農業を特徴づける各種農具があり、佐賀農業の歴史や当時の農業事情を伺い知ることができます。

その他、鳥栖市田代を中心とした製薬・売薬関係資料、東松浦郡相知町横枕の大甕製作用具、小川島での捕鯨用具など佐賀の民俗を特徴づけている。

## ① 佐賀のすまい

○民家模型（クド造り・ジョウゴ造り）

○収納家具 ○あかり

## ② 佐賀農業のあゆみ

○耕作用具 ○泥土揚げ用具 ○管理用具

○収穫用具 ○脱穀調整用具

③ 有明海の文化

- 干潟漁業用具 ○貝塚と採捕用具
- 船上で使う生活用具

④ 玄界の捕鯨

- 明治以降の捕鯨用具
- 肥前国産物図考（捕鯨の図・写真パネル）
- 勢子船・双海船（捕鯨の船）模型

⑤ 佐賀県の諸職

- 手しき和紙 ○独楽づくり ○漆塗り櫛
- 浮立面づくり ○鍛冶屋 ○大甕づくり
- 肥前配置壳菜

また、下記のコーナー展示を行った。

- ①暖のうつわ（～5月9日）
- ②わらの民具（5月14日～7月4日）
- ③看板と廣告（7月9日～8月29日）
- ④竹の民俗（10月2日～2月13日）

☆その他の展示

「平成4年度新収蔵品」（5／14日～7／4）

自然

- 1 チョウ類標本（ネハール、イント、タイ、中国産）  
111種 購入
- 2 赤鉄鋼 1個 寄贈

考古

- 3 銅戈鋌型（複製） 佐賀市櫟ノ木遺跡 1口
- 弥生/B.C. 1C 購入
- 4 桂甲 諸富町石塚1号墳 1領 古墳/6C 寄託

歴史（武具、古文書、地図など）

- 5 刀・脇差 八代忠吉 2口 江戸/19C 寄贈
- 6 短刀 廣貞 1口 江戸/17C 寄託
- 7 脇差 堪元正久 1口 文化10/1813年 寄託
- 8 肥前鐔 3件 江戸/18—19C 寄託
- 9 縁頭 吉村一啓 1組 江戸/19C 寄託
- 10 肥前鐔 20件 江戸/18—19C 購入
- 11 縁頭 常延 1組 江戸/19C 購入
- 12 伝佐嘉城欄間 1点 江戸/18—19C 寄贈
- 13 伝佐嘉城袋戸 4点 江戸/18—19C 寄贈
- 14 日記地取 1冊 慶応4/1868 寄贈
- 15 曾斎日誌 2冊 明治/19C 寄贈
- 16 鉄銷地紺糸威二枚胴具足 1領 室町/16C 寄贈
- 17 毛利輝元書状（龍造寺政家宛）1幅 桃山/16C 購入
- 18 老臣原田種文舍切述懐 鍋島綱茂 1幅 元禄12/169

9年 購入

- 19 宰相推任辞退願 鍋島直正 1面 元治1/1864年 購入
- 20 南沢一本杉合戦図額 1面 明治/19C 購入
- 21 龍造寺正統系図 3巻ノ内 江戸/19C 寄託
- 22 長崎港出島之図 1枚 嘉永4/1851年 寄贈
- 23 大日本道中独案内図 1枚 天保12/1841年 寄贈
- 24 道中独案内図 1枚 文政5/1822年 寄贈

美術（ガラス、書、絵画）

- 25 江戸切子台鉢 1口 江戸/19C 購入
- 26 佐賀硝子蓋付瓶（大）3口 明治-大正/20C 寄贈
- 27 佐賀硝子蓋付瓶（小）3口 明治-大正/20C 寄贈
- 28 佐賀硝子吸い呑み 3口 大正-昭和/20C 寄贈
- 29 山水図 矢野雪叟筆 1幅 江戸/18C 寄託
- 30 一行書 男谷燕斎筆 1幅 江戸/19C 寄託
- 31 山水図並三行書 頼山陽筆 2幅 江戸/19C 寄託
- 32 三行書（七言絶句）「旗亭…」 広瀬淡窓 1幅  
江戸/19C 寄贈
- 33 三行書（七言絶句）「百尺…」 広瀬淡窓 1幅  
江戸/19C 寄贈
- 34 雪松美人文書き図 周幽斎夏龍筆 1幅 江戸/  
19C 購入
- 35 和歌二首 柴田花守筆 1幅 江戸/19C 寄贈
- 36 一行書 鍋島直正筆 1幅 江戸/19C 寄託
- 37 和歌短冊 古川松根筆 1枚 江戸/19C 寄贈
- 38 和歌短冊 今泉蟹守筆 1枚 江戸-明治/19C 寄贈
- 39 二行書 副島種臣筆 1幅 明治/19C 寄託
- 40 二行書（五言絶句）大木喬任筆 1幅 明治/19C 寄託

（佐野常民関係）

- 41 四行書 佐野常民筆 1幅 明治/19-20C 寄託
- 42 三行書 佐野常民筆 1幅 明治/19-20C 寄託
- 43 二行書 佐野常民筆 1幅 明治/19-20C 寄託
- 44 二字額「養忠」 佐野常民筆 1面 明治/19-  
20C 寄託
- 45 五行書 佐野常民筆 1幅 明治/19-20C 寄託
- 46 四字「和氣致祥」 佐野常民筆 1幅 明治35/  
1902年 寄託
- 47 書扇面 佐野常民筆 4本 明治/19-20C 寄託
- 48 佐野常民肖像（博多織）1枚 明治/19-20C 寄託

民俗

- 49 衣装箪笥 1箪 明治/19-20C 寄贈
- 50 民俗芸能衣装（上衣） 1点 昭和/20C 寄贈

- 51 漢詩銘 1点 昭和/20C 寄贈  
 52 簪柄 1点 昭和/20C 寄贈  
 53 箱枕 1基 昭和/20C 寄贈  
 54 高下駄 2足 昭和/20C 寄贈  
 55 四季農耕図絵馬 1面 江戸-明治/19C 寄託

## 常設特別展「佐賀県立博物館名品撰」

会期 9月23日(金)~11月23日(日)

会場博物館2,3(10/2より)号展示室

## 考古 ◎国宝◎重要文化財◇佐賀県重要文化財

- 1 尖頭器 [多久市三年山・茶園原遺跡] 4個 旧石器/1.8~1.3万年前  
 2 ナイフ形石器 [鎮西町切立遺跡] 5個 旧石器/1.8~1.3万年前  
 3 台形石器 [鎮西町切立遺跡] 2個 旧石器/1.8~1.3万年前  
 4 細石刃 [伊万里市白蛇山岩陰遺跡] 14個 旧石器/1.3~1.2万年前  
 5 細石核 [ ] 2個 旧石器/1.3~1.2万年前  
 6 繩文土器・甕 [大和町大久保三本松遺跡] 1個 繩文/6~5千年前 佐賀県教育委員会  
 7 繩文土器・甕 [背森県石神遺跡] 1個 繩文/5~4千年前  
 8 繩文土器・甕 [山梨県村上遺跡] 1個 繩文/5~4千年前 山梨県埋蔵文化財センター  
 9 磨製石斧 [伊万里市白蛇山岩陰遺跡] 1個 繩文/5~3千年前  
 10 磨製石斧 [西有田町坂の下遺跡] 1個 繩文/4~3千年前  
 11 打製石鎌 [西有田町伊古石・坂の下遺跡] 20個 繩文/1万~3千年前 館蔵  
 12 石匙 [佐賀県内] 2個 繩文/6~3千年前  
 13 弥生土器・壺 [中原町田南遺跡] 1個 弥生/B.C.2世紀 佐賀県教育委員会  
 14 弥生土器・甕 [ ] 1個 弥生/B.C.2世紀 佐賀県教育委員会  
 15 朝鮮系無文土器・壺 [三日月町土生遺跡] 1個 弥生/B.C.2C 三日月町教育委員会  
 16 弥生土器・筒形器台 [北茂安町宝満谷遺跡] 1個 弥生/B.C.1~A.D.1C 佐賀県教育委員会  
 17 弥生土器・筒形器台 [神埼町川寄若宮遺跡] 1個 弥生/B.C.1~A.D.1C 佐賀県教育委員会  
 18 太形蛤刃石斧 [小城町内] 1個 弥生/B.C.2~1C  
 19 挟入石斧 [三日月町土生遺跡] 1個 弥生/B.C.

- 2~1C 三日月町教育委員会  
 20 偏平片刃石斧 [唐津市萬葉遺跡] 3個 弥生/B.C.2~1C 三日月町教育委員会  
 21 石包丁 [佐賀県内] 3個 弥生/B.C.3~A.D.1C  
 22 多鋸細文鏡 [唐津市宇木汲田遺跡] 1面 弥生/B.C.2~1C  
 23 細形銅矛 [ ] 2口 弥生/B.C.2~1C  
 24 細形銅劍 [ ] 4口 弥生/B.C.2~1C  
 25 細形銅戈 [ ] 1口 弥生/B.C.2~1C  
 26 銅鉗 [ ] 4個 弥生/B.C.2~1C  
 27 硬玉製勾玉 [ ] 10個 弥生/B.C.2~1C  
 28 ガラス製管玉 [ ] 2個 弥生/B.C.2~1C  
 29 碧玉製管玉 [ ] 3個 弥生/B.C.2~1C  
 30◎細形銅劍 [三田川町・神埼町吉野ヶ里遺跡] 4口 弥生/B.C.1C 文化庁  
 31◎青銅製十字形把頭飾 [ ] 1個 弥生/B.C.1C 文化庁  
 32◎ガラス製管玉 [ ] 10個 弥生/B.C.1C 文化庁  
 33 イモガイ製貝輪 [呼子町大友遺跡] 6個 弥生/B.C.2C  
 34 ゴホウラ製貝輪 [ ] 5個 弥生/B.C.2C  
 35 オオツタノハ製貝輪 [ ] 6個 弥生/B.C.2~1C  
 36 イモガイ製垂飾 [ ] 1個 弥生/B.C.2~1C  
 37◎中広形銅矛 [北茂安検見谷遺跡] 12口 弥生/1C 文化庁  
 38◎連弧文「滑白」銘鏡 [上峰町・東脊振村二塚山遺跡] 1面 弥生/B.C.1~A.D.1C 佐賀県教育委員会  
 39◎連弧文「昭明」銘鏡 [ ] 1面 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 40◎複波文縁獸帶鏡 [ ] 1面 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 41◎ガラス製管玉 [ ] 3連 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 42◎ガラス製小玉 [ ] 5連 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 43◎ゴホウラ製貝輪 [ ] 3個 弥生/B.C.1C 佐賀県教育委員会  
 44◎素環頭鉄刀 [ ] 1口 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 45◎鉄矛 [ ] 1口 弥生/1~2C 佐賀県教育委員会  
 46◎鉄劍 [ ] 1口 弥生/1C 佐賀県教育委員会  
 47◎流雲文縁方格規矩四神鏡 [唐津市桜馬場遺跡] 1面 弥生/1C  
 48◎紫文縁方格規矩渦文鏡 [ ] 1面 弥生/1C  
 49◎巴形銅器 [ ] 3個 弥生/1C  
 50◎有鉤銅鉗 [ ] 24個 弥生/1C

- 51 短甲【白石町一の谷遺跡】1領 古墳/5~6C  
52 桂甲【諸富町石塚遺跡】1領 古墳/5~6C 諸富町教育委員会  
53◎四獸鏡【佐賀市熊本山石棺墓】1面 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
54◎勾玉【〃】2個 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
55◎管玉【〃】1連 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
56◎小玉【〃】1連 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
57◎紡錘車【〃】2個 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
58◎鉄製鉗【〃】1個 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
59◎鉄劍【〃】1口 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
60◎鉄刀【〃】2口 古墳/4~5C 佐賀市教育委員会  
61○方格規矩鏡【佐賀市関行丸古墳】1面 古墳/5~6C  
62○珠文鏡【〃】2面 古墳/5~6C  
63○変形文鏡【〃】1面 古墳/5~6C  
64○勾玉【〃】1個 古墳/5~6C  
65○管玉【〃】1連 古墳/5~6C  
66○糸玉【〃】1個 古墳/5~6C  
67○小玉【〃】5連 古墳/5~6C  
68○貝輪【〃】1個 古墳/5~6C  
69○三環鈴【〃】1個 古墳/5~6C  
70○金銅製冠帽【〃】1具 古墳/5~6C  
71○金銅製半筒形装飾具【〃】1個 古墳/5~6C  
72○鹿角柄刀子【〃】3個 古墳/5~6C  
73○鉄具【〃】2個 古墳/5~6C  
74○鉄留金具【〃】1個 古墳/5~6C  
75○変形文鏡【佐賀市花納丸古墳】1面 古墳/5~6C  
76○管玉【〃】1連 古墳/5~6C  
77○三環鈴【〃】1個 古墳/5~6C  
78○船形石棺【佐賀市久保泉丸山3号墳】1合 古墳/5C  
79 古瓦【小城町寺浦廃寺】2個 奈良/8C 佐賀県教育委員会  
80 古瓦【大和町肥前国分寺跡】2個 奈良/8C  
81 石鎧【大和町肥前国府跡】4個 奈良/8~9C 佐賀県教育委員会  
82○経筒【外筒付/大町町仏法堤経塚】1合 平安/12C 大町町教育委員会  
83○経筒【外筒付/多久市山崎経塚】1合 平安/12C  
84○経筒【脊振村脊振山1号経塚】1合 平安/12C 脊振村教育委員会  
85 経筒【脊振山】4合 平安/12C

#### 詩 歌

- 86○催馬楽譜 1冊 平安/12C 鍋島報效会  
87○東遊歌神樂歌 1巻 平安/12C 鍋島報效会  
88 白帝城詩屏風【洪浩然筆】1双 江戸/17C

- 89 二字書屏風【古賀精里筆】1双 江戸/18~19C  
90 十七帖臨書屏風【中林梧竹筆】1双 明治/20C 寄託  
91 登金陵鳳凰台屏風【副島種臣筆】1双 明治/19C 寄託

#### 文 書

- 92◇深江家文書 1巻 鎌倉~南北朝/13~14C 寄託  
93 豊臣秀吉朱印状 1通 桃山/16C 鍋島報效会  
94 豊臣氏五奉行連署書状 1通 桃山/1598年 鍋島報效会  
95 朝鮮国礼曹刷還諭告文 2幅 江戸/17C

#### 典 籍

- 96 紺紙金字法華経 7帖の内1帖 高麗/1340年 鍋島報效会  
97 白紙金字金剛般若波羅蜜経 1帖 高麗/1367年慶開寺  
98 葉隠写本【鹿島鍋島家本】11冊 江戸/18~19C  
99 肥前国産物図考【木崎盛標筆】8帖の内 江戸/1784年

#### 彫 刻

- 100○誕生仏【金銅】1軀 奈良/8C 広福護国禅寺  
101 観音菩薩立像【金銅】1軀 奈良或は唐/8C 寄託  
102○円鑑禪師坐像【木造】1軀 鎌倉/1300年 高城寺  
103◇菩薩形坐像【金銅】1軀 高麗/14C 普明寺  
104 能面・三日月【木造】1面 室町/14C 寄託  
105 能面・真角【〃】1面 江戸/17C 寄託  
106 能面・黒髭【〃】1面 江戸/17~18C 寄託  
107 能面・猩々【〃】1面 江戸/17~18C 寄託  
108 能面・老女【〃】1面 江戸/18C 寄託

#### 絵 画

- 109◇両界曼茶羅 2幅 鎌倉/13C 妙覚寺  
110○東妙寺並妙法寺境内図 1幅 鎌倉/14C 東妙寺  
111○見心来復像 1幅 元/1365年贊 萬歳寺  
112○以亨得謙像 1幅 元~明/1402年贊 萬歳寺  
113○楊柳観音像 1幅 高麗/1310年 鏡神社  
114◇阿弥陀八大菩薩像 1幅 高麗/13C 広福護国禅寺  
115◇善財童子歴參図 1幅 李朝/15C 広福護国禅寺  
116 吉野山図屏風 6曲1双 桃山/16~17C 鍋島報效会  
117 高僧像【狩野孝信筆】1幅 桃山/17C 寄託  
118◇肥前名護屋城図屏風 6曲1隻 江戸/17C  
119 蝦蟇・鉄拐図【狩野山雪筆】2幅 江戸/17C  
120 普賢菩薩騎象図【逸然筆】1幅 江戸/1660年

- 121 金立神社縁起図 1幅 江戸/17C 金立神社  
 122 梅に鷹図 [天龍道人筆] 1幅 江戸/18C  
 123 獅子図屏風 [長沢蘆雪筆] 1隻 江戸/18C  
 124 山水図襖 [谷文晁筆] 12面 江戸/1820年 寄託

## 陶磁器

- 125◇色絵花蝶図輪花深鉢 [柿右衛門様式] 1口 江戸/17C  
 126 色絵菱更紗文皿 [鍋島藩窯様式] 1口 江戸/18C  
 127 色絵牡丹文皿 [〃] 1口 江戸/18C  
 128 三彩唐津山岳図大鉢 [武雄・弓野山窯] 1口 江戸/18C  
 129 染錦美人樓閣図大皿 [古伊万里様式] 1口 江戸/18C  
 130 染付世界地図大皿 [〃] 1口 江戸/18C  
 131◇染付鍋島藩窯絵図大皿 [鍋島藩窯様式] 1口 江戸/19C

## 染色

- 132◇二十五条袈裟 [以亨得謙所用] 1領 元或は室町/14~15C 萬歳寺  
 133 九条袈裟 1領 元~明/14~15C 高城寺  
 134 鍋島更紗見本帖 [さらさ屋兵右衛門] 1巻 江戸/19C  
 135 鍋島更紗秘伝書 1巻 江戸/19C  
 136 鍋島更紗掛軸 花籠図 1幅 明治/19C 鍋島報效会  
 137 鍋島更紗掛軸 花籠図 1幅 明治/19C  
 138 鍋島更紗幕 幕 1枚 明治/19C  
 139 鍋島綾通 蟹牡丹文 1帖 明治/19C  
 140 鍋島綾通 花杏葉文 1帖 明治/19C

## 金工

- 141◇水上懸仏 [銅造] 1面 鎌倉/1271年 大和町水上地区  
 142◇五鈷四天王鉦 1口 唐/9C

## 木工

- 143 梨地菊桐文蒔絵角盤 [小城鍋島家旧蔵] 1口 桃山/16C  
 144 梨地菊桐文蒔絵棟 [〃] 1口 桃山/16C  
 145 菊桐文蒔絵柄桶 [〃] 1口 桃山/16C  
 146 菊桐文蒔絵柄杓 [〃] 1口 桃山/16C  
 147 奉納船 [北前型弁財船 1/10] 1隻 江戸/19C

## 武具

- 148 紺糸威桶側二枚胴具足 [伝竜造寺隆信所用] 1領 桃山/16C  
 149◇湊に日輪文打出五枚胴具足 [宮田勝貞作] 1領 江戸/1718年  
 150◇刀 [銘: 正平十口肥州末貞] 1口 南北朝/14C 鍋島報效会  
 151◇刀 [銘: 肥前国藤原忠廣/寛永七年八月吉日] 1口 江戸/1630年 鍋島報效会

・常設特別展「三岳寺の美術」

会期 1月8日(土)~2月13日(日)

会場 佐賀県立博物館 3号展示室

常設特別展として「三岳寺の美術」を開催した。

医王山三岳寺は、佐賀藩祖鍋島直茂、初代藩主勝茂父子により建立された寺院で、小城出身の禅僧であり徳川家康に重く用いられた閑室元信を開山とし、臨済宗南禅寺派に属している。三岳寺は学問に秀でていた元信和尚以来の伝統で一流の学問僧を多く輩出し、江戸時代を通して佐賀の学術・文化の一つの基軸であった。

また、三岳寺の地は古来より薬師如来の靈場として名高く、かつては三津寺という天台宗寺院で、鎌倉時代後期には肥前千葉氏の厚い保護を受け、以後は臨済宗に改めている。

佐賀県立博物館では、市町村教育委員会の協力を得て、平成4年度から4ヶ年計画で県内の寺院、神社に所蔵される文化財の調査を実施しており、三岳寺からも貴重な文化財が多数見出だされた。この展覧会は調査の成果をもとに開催するもので、中・近世を通じて佐賀の領主と深く関わり、文化の中心に位置した三岳寺を取り上げることで、佐賀の歴史と文化を紹介した。

展示内容: 仏像、絵画、古文書等 約50点

主な展示品:

閑室元信像 (絵画 県重文)	桃山時代
近衛信尹書状 (書)	桃山時代
蒔絵文箱 (工芸)	桃山時代
薬師如来坐像 (彫刻)	鎌倉時代
大日如来坐像 (彫刻)	鎌倉時代
十一面觀音坐像 (彫刻)	鎌倉時代

## 2. 企画展

### 時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界

主 催 佐賀県立博物館

会 期 平成6年2月18日（金）～3月27日（日）

会 場 佐賀県立博物館2号・3号展示室

観覧料 大人 510円（410円）

大学生 250円（150円）

（ ）内は20名以上の团体料金

\*高校生以下は無料

### 図録 四六版12切変形

ロイヤルアート紙134ページ

（内カラー80ページ）

### 記念講演会

演題 「日本楽器の源流」

講師 国立歴史民俗博物館教授 小島美子氏

日時 平成6年3月6日（日）午後2時～

場所 佐賀県立美術館1号A展示室

入場者数 4,511名（33日間）



展覧会ポスター

その他 展示内容に沿った15分のビデオソフトを制作し、会期中会場で放映した。

主旨 人は古来くらしの中で音をあらわす目的で利用してきました。神・仏との交流の手段として、あるいは式楽として、また力の誇示や社交の手段としてなど、それは各時代の情勢に呼応しながら多様な変化を遂げてきました。このことを何よりも教えてくれるのは、そこに使用された楽器そのものの変遷です。

本展では、原始・古代から現代にいたるまでの時代を象徴する楽器を通して、音と人の結び付きがどのように変化してきたのかを探ってみました。

### 展示構成

1. 和楽の源流
2. 雅楽の世界
3. 能の世界
4. 庶民の息吹－浮世－
5. 世界の楽器－日本の楽器その源流と交流－



記念講演会

### 3. 資料調査（博物館）

平成 5 年

4月13日	木彫像調査（巖木町）	学芸員 竹下正博
4月13日	美術資料調査（佐賀市）	学芸員 福井尚寿ほか
5月11日	トンボ調査（神埼町・佐賀市）	学芸員 中原正登
5月18日	県内社寺調査（芦刈・牛津・小城・多久）	学芸員 竹下正博ほか
5月19日	県内社寺調査（三日月・大和・富士・三瀬・脊振）	学芸員 竹下正博ほか
5月20日	県内社寺調査（神埼・三田川・上峰・三根・千代田）	学芸員 竹下正博ほか
5月21日	県内社寺調査（東脊振・中原・鳥栖・基山・北茂安）	学芸員 竹下正博ほか
5月24日	県内社寺調査（武雄）	学芸員 竹下正博ほか
5月25日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（福岡）	学芸員 山崎和文ほか
5月26日	トンボ・チョウ調査（神埼町・大和町）	学芸員 中原正登
6月1日	トンボ調査（有田町・西有田町・伊万里市）	学芸員 中原正登
6月1日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（東京）	学芸員 山崎和文
6月9日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（東京・奈良）	学芸員 山崎和文
6月21日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（広島・埼玉・東京）	学芸員 山崎和文
6月24日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（奈良・滋賀・京都）	資料係長 蒲原宏行
7月12日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（奈良・千葉・大阪）	学芸員 山崎和文
7月23日	トンボ調査（神埼町）	学芸員 中原正登
7月27日	美術資料調査（北茂安町）	学芸員 福井尚寿
8月4日	トンボ調査（大和町・神埼町）	学芸員 中原正登
8月17日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（福島・宮城・岐阜）	
		学芸員 山崎和文
8月17日	県内社寺調査（大和町）	学芸員 竹下正博ほか
8月18日	県内社寺調査（神埼・東脊振・三瀬・富士）	学芸員 竹下正博ほか
8月19日	県内社寺調査（武雄）	学芸員 竹下正博ほか
8月20日	県内社寺調査（三田川）	学芸員 竹下正博ほか
8月24日	県内社寺調査（鳥栖）	学芸員 竹下正博ほか
8月25日	県内社寺調査（佐賀・千代田・大和）	学芸員 竹下正博ほか
9月20日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（県内一円）	学芸員 山崎和文
10月5日	次年度企画展調査（鹿児島・大分）	学芸員 川副義敦
10月12日	歴史資料調査（神埼・千代田）	学芸員 川副義敦
10月12日	企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともなう調査（京都）	学芸員 山崎和文
10月18日	県内社寺調査（小城町）	学芸員 竹下正博
11月25日	県内社寺調査（小城・大和）	学芸員 竹下正博
12月17日	染織資料調査（武雄市）	学芸員 宮原香苗

平成 6 年

1月20日	美術資料調査（久留米・北茂安）	学芸員 福井尚寿
1月21日	次年度企画展調査（福岡）	学芸員 川副義敦
3月3日	捕鯨資料調査（呼子町）	学芸員 山崎和文ほか
3月8日	次年度企画展調査（関西方面）	学芸員 川副義敦
3月16日	染織資料調査（武雄市・鹿島市）	学芸員 宮原香苗
3月23日	美術資料調査（小城町）	学芸員 福井尚寿

## 4. 博物館観覧状況調べ 平成5年度

## ①博物館主催事業

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県の歴史と文化①	7,893	405	490	163	2,634	59	1,130	7,247

企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
音の結ぶ世界展②	1,678	145	22	99			850	610

^

その他の展覧会	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
第43回佐賀県児童生徒理科作品展③					684		161	970

合 計 ①+②+③	9,571	550	512	262	3,318	59	2,141	8,827
-----------	-------	-----	-----	-----	-------	----	-------	-------

## ②その他の主催事業

北京故宮博物院展	有 料						無 料		
	個 人			團 体			大 人	大・高	中・小
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小			
	16,679	722	1,022		292	490			

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
207	318	114	20,660	278	74	4／1～3／31	1、2、3大展	県立博物館

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
38	1,046	23	4,511	33	136	2／18～3／27	2、3号	県立博物館

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
	6		1,821	6	303	9／22～9／28	3号	県理科教育振興会

245	1,370	137	26,992	317	85			
-----	-------	-----	--------	-----	----	--	--	--

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障害者	招待者	優待者						
	7,166		26,371	23	1,146	12／1～12／26	1、2、3号	佐賀新聞社

## 5. 普及活動

### (1) 資料の刊行

#### 館報

年4回、各号8頁で1000部発行。

全国の主要博物館、美術館ならびに研究機関、県内の教育機関、社会教育団体等に配布。企画展、常設展の案内、資料紹介、研究報告等を掲載。平成5年度各号の内容は下記のとおり。

NO.101 平成5年8月1日

- ◇表紙・ニッポンバラタナゴ（雄）
- ◇常設展案内「平成4年度 博物館新収蔵品展」
- ◇常設展案内「平成4年度 美術館新収蔵品展」
- ◇常設展案内「城内に生息する淡水魚」
- ◇研究ノート「佐賀藩絵師広渡雪山（下）」
- ◇「御挨拶」（館長 飯盛邦尚）／日誌



館報No.101



館報No.102



館報No.103



館報No.104

NO.102 平成5年8月16日

- ◇表紙・十一面觀音菩薩坐像・薬師如來坐像・大日如來坐像（小城町・三岳寺所蔵）
- ◇常設展案内「日本の蝶」
- ◇常設展案内「夏の輝き一ガラスの涼」
- ◇調査ノート「平成4年度 県内社寺調査 概要報告」
- ◇資料紹介「岡田三郎助作《ローマの古橋》」
- ◇行事案内／日誌

#### 博物館・美術館年報

平成4年度佐賀県立博物館・美術館年報 NO.23を刊行し、平成4年度の管理概要、事業概要、資料概要、茶室の管理と運営の概要等を掲載し、各方面に配布。印刷部数800部、B5版、アート紙、54頁

NO.103 平成6年10月1日発行 8頁

- ◇表紙・岡田三郎助愛用のパレット
- ◇展覧会案内「岡田三郎助の展覧会歴」
- ◇常設展案内「佐賀県立博物館 名品撰」
- ◇資料紹介「鍛金作家 石田英一 作品と時代—その2—」
- ◇講演会要旨「初めて海を渡った佐賀人たち」
- ◇行事案内／日誌

#### 調査研究書

平成5年度佐賀県立博物館・美術館調査研究書第19集を刊行、各方面に配布した。印刷部数800部、B5版、アート紙、60頁。内容は下記のとおり。

松本誠一（近代美術）

川副義敦（歴史）

中原正登 城内に生息する生物—淡水魚、昆蟲類（チヨウ・トンボ）を中心に

NO.104 平成6年1月5日発行 8頁

- ◇表紙・金銀平文琴（正倉院古楽器模造美術品 東京国立博物館所蔵）
- ◇展覧会案内「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」
- ◇常設展案内「三岳寺の美術」
- ◇常設展案内「日本近代洋画と白馬会」
- ◇エッセイ「近世の唐津」
- ◇行事案内／日誌

#### 図録

企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界」にともない刊行したもので、カラー図版80頁、ほか解説、出品目録等総計134頁で構成。

印刷部数1,000部、B4版変形、アート紙。

## (2) 研究講座

## 1. 記念講演会

企画展「時代をかなでた楽器 音の結ぶ世界展」開催を記念して下記の内容で実施した。

年月日 平成6年3月6日(土) 午後2時~4時

演題 日本楽器の源流

講師 国立歴史民俗博物館教授 小島美子 氏

会場 美術館1号A展示室

参加 約180人

## 2. 博物館講座

年月日 平成5年6月27日(日) 午後2時~

演題 初めて海を渡った佐賀人たち

講師 九州大学大学院 アンドリュー・コビング氏

会場 美術館 画廊・研修室

参加 約150人

## 3. 博物館土曜教室

テーマ	担当	月日
浮世絵の流れ	福井尚寿	7/ 3
チョウの標本作成と幼虫の育て方	中原正登	7/17
土器の復元に挑戦しよう	木下 巧	8/ 7
更紗もよう	宮原香苗	8/21
吉野ヶ里の中世的景観	川副義教	11/ 6
弥生から古墳へ		
—3世紀の佐賀平野を探る—	蒲原宏行	11/20
三岳寺の仏像	竹下正博	1/22
日本近代洋画と白馬会	松本誠一	3/ 5
時代をかなでた楽器たち	山崎和文	3/12

## (3) 博物館学実習

学芸員養成講座を持つ大学からの要請により、6月30日(月)から7月 9(水)までの9日間実施した。なお、参加者は17名。佐賀大(7人)、西南学院大(3人)、梅光女学院大(1人)、京都橘女子大(1人)、駒沢大(1人)、広島文教女子大学(1人)、純心女子短期大(1人)、中央大(1人)、鹿児島女子大(1人)。

6月	実習科目(担当)	
	7月	午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:00
30日(水)	・開講式 施設見学・管理運営(菊池)	博物館・美術館の学芸活動 (森・木下・蒲原・松本)
1日(木)	保存科学(木下)	近代美術(松本)
2日(金)	近世美術(福井)	近代美術(松本)
3日(土)	個人またはグループによる館外実習	
5日(月)	撤収作業	展示作業
6日(火)	中世美術(竹下)	展示作業
7日(水)	工芸(宮原)	民俗(山崎)
8日(木)	自然科学(中原)	
9日(金)	歴史(川副)	開講式

## (4) 館外普及活動

4月 8、15日

「平成5年度展覧会ご案内」配布

5月20日 佐賀県広報連絡会議出席

6月11日 教育センター講座(生物)

6月25日 佐賀県広報連絡会議出席

7月 2日 教育センター講座(中学美術)

9月16日 平成5年度統計グラフ佐賀県コンクール審査会出席

9月24日 佐賀県広報連絡会議出席

10月27日 佐賀県広報連絡会議出席

11月18日 佐賀県広報連絡会議出席

1月18~21、24~28

博物館企画展「音の結ぶ世界展」普及

## 資料の概要

### 3. 購入資料

#### (1)自然史資料

資料名	数量	備考
昆虫類標本(中南米産)	13点	展翅標本
恐竜(竜脚類)の化石	1点	大腿骨
恐竜(ハドロサウルス)の化石	18点	頸、肋骨など
カブトガニ剥製標本	1点	有明海産(発生)

#### (2)考古資料

資料名	数量	備考
谷口古墳出土吾作銘三神三獸獸帶鏡	1面	複製品(発生)

#### (3)歴史資料

資料名	数量	備考
1633年アムステルダム刊「支那・日本図」	1面	紙本 彩色
蓮池藩領直島村周辺絵地図	1面	紙本 彩色
鍋島直茂画像	1輻	複製品(発生) 紹本 着色 軸装
竜団打出胸当	1面	宮田勝貞作

#### (5)美術・工芸資料

資料名	数量	備考
狩野山雪「蝦蟇・鉄拐図」	2幅	紙本 墨画淡彩 軸装
周幽斎夏籠「紅梅に小禽図」	1幅	紹本 着色 軸装
牛島豊翠「双牛図」	1幅	相本 着色 軸装

## 2. 寄贈資料

#### (1)自然史資料

資料名	数量	寄贈者
昆虫展翅標本(ベッコウトンボ)	2点	唐津市菜畑 3845-1 吉田喜美明
昆虫展翅標本(ヨシボシトンボ)	1点	"
昆虫展翅標本(ミヤマカラスアゲハ)	2点	"

#### (2)民俗資料

資料名	数量	寄贈者
鐵づくり用具一式	6点	杵島郡白石町大字堤 604 鎌ヶ江健蔵

#### (3)歴史資料

資料名	数量	横浜市鶴見区鶴見中央 2-10-3-211 鍋島武邦・好子
大木英鉄筆肖像画	1幅	"
洞外筆肖像画	1幅	"
肖像画	1幅	"
肖像画	1幅	"
鍋島綱茂書	1幅	"
鍋島直大書	1幅	"
杏葉紋旗	1枚	佐賀市水ヶ江 2-17 古賀二郎
刀銘 伊豫源宗次	1口	佐賀市兵庫町若宮 65 稲田元四
脇差銘 播磨大掾麻原忠國 二月吉日	1口	太宰府市吉松 20-6 横山 学
伊勢神宮式年遷宮祭衣裳	1式	佐賀市西与賀町大字厘外 770-2 古賀健詔

#### (5)美術・工芸資料

資料名	数量	寄贈者
鍋島小紋袴地 杏葉紋	一式	佐賀市水ヶ江 2-17 古賀二郎

### 3. 寄託資料

#### (1)考古資料

資料名	数量	寄託者	備考
目達原出土中広形銅矛	3口	神埼郡 個人	
三津永田遺跡出土貝輪	5個	"	
" 銅鍔	1	"	
吉野ヶ里遺跡出土細形銅劍	1	"	

#### (2)歴史資料

資料名	数量	寄託者	備考
龍造寺隆信肖像画(法衣姿)	1幅	佐賀市 宗龍寺	
" (甲冑姿)	1幅	"	
槍術極意書	3巻	東京都 個人	
阿弥陀如来坐像	1軀	東松浦郡 個人	

#### (3)美術・工芸資料

資料名	数量	寄託者	備考
廣渡心海筆 山水図屏風	1双	伊万里市 個人	
七言絶句(三行書) 副島種臣筆	1幅	東京都 個人	
碧額「洞中天」副島種臣筆	1面	"	
「未嘗邪勝正」副島種臣筆	1幅	"	

## 4. 資料の貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
柿右衛門様式 色絵花蝶八橋文壺 1点	有田VOC「海を渡った古伊万里」展	H5.4.6~11.4
ムササビ(剥製) 1点	佐賀県教育センター	H5.6.28~7.2
諸富町石塚古墳出土挂甲 1点	北九州市立考古博物館 「終末期古墳の世界」展	H5.7.1~9.22
宇木汲田遺跡出土 銅矛ほか 10点	唐津市教委 模製品作成	H5.7.5~7.14
二彩唐津織刷毛目文大鉢 1点	読売新聞西部本社 「古唐津」展	H5.8.21~12.7
龍造寺隆信画像 1点	黎明館 「鐵砲伝来450年」展	H5.9.11~10.14
大友遺跡出土 貝輪ほか 13件65点	福岡県教委「アジア文明交流」展	H5.9.29~11.22
桜馬場遺跡出土 有鉤銅釧ほか 16点	八代市立博物館「古代の青銅器展」	H5.10.12~12.3
一本谷遺跡出土 長直子孫連弧文鏡 1面	上峰町歴史資料館 開館特別展	H5.7.15~8.27
宇木汲田遺跡出土 銅鏡ほか 10点	唐津市教委 模製品作成	H5.8.2~8.9
宇木汲田遺跡出土 銅鏡ほか 10点	唐津市教委 模製品作成	H5.8.23~9.13
ひょうたん塚出土 銅劍ほか 3点	元興寺文化財研究所 「銅劍展」	H5.10.4~11.12
蓮鷲図 2点	山口県立美術館 「室町時代の舟舟流」展	H5.10.13~11.28
肥前國產物図考ほか 9点	四日市市立博物館 「鎧・勇魚・くじら」展	H5.10.20~12.27
小城鍋島家什器 4点	佐賀県立名護屋城博物館 常設展	H5.10.26~11.29
宇木汲田遺跡出土 硬玉製匁玉 3点	唐津市教委 模製品作成	H5.10.26~12.27
叩き褐釉壺ほか 3点	佐賀県立名護屋城博物館 「唐津焼の誕生と変遷」	H5.12.21~6.3.8
古賀精里筆 七絶詩ほか 3点	多久市郷土資料館「儒林の書画」展	H5.12.22~6.1.1
小城鍋島家旧蔵 金張兜 1点	佐賀県立名護屋城博物館 常設展	H5.12.27~6.1.31
宇木汲田遺跡出土 銅鏡ほか 5点	島田市博物館「弥生の祭りと生活」展	H6.1.10~3.24
小城鍋島家什器 4点	佐賀県立名護屋城博物館	H6.1.31~2.28
宇木汲田遺跡出土 細形銅矛 1点	愛媛県生活文化総室 模製品作成	H6.2.16~4.30
二塚山遺跡出土品ほか 137点	大阪市立博物館「金属の考古学」展	H6.2.16~4.30

## (1) 購入図書

購 入 図 書	発 行 所
国史大事典 13	古川弘文館
論苑考古学	天山社
国史事典 14	古川弘文館
翔古論集	真陽社
日本村落史講座	雄山閣
保育社図鑑	保育社
日本奇談逸話伝説大事典	勉誠社
藩史大事典 九州編	雄山閣
J A P A N	講談社
よみがえる中世	平凡社
米欧回覧実記の学際的研究	北海道大学図書刊行会
歴史学事典	弘文堂
九州大学出版会叢書	九州大学出版社
仏教文化事典	佼成出版社
日本仏教美術史研究	思文閣出版
日本彫刻史研究法	
禅学大辞典	大修館書店
日本カエル図鑑	文一総合出版
考古学論叢	関西大学
地学事典	平凡社

## 茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

### 1 茶室規模及び施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で21年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に浸透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都大田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区青山5-9-12

アイザワビル

構造 木造平家建 寄棟造り

規模 床面積 57.35 m<sup>2</sup>

### 2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、21年目に入り県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。

今年度は、各流の茶道グループ、茶道愛好会、又今年は、日中友好「九州青年の船」事業による中国青年を茶室に招く等（8月26日）利用の幅もさらに広まり、社会教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は次のとおりである。

平成5年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4			2
5	2	19	1
6			2
7			4
8	1	14	2
9			
10			1
11			
12	1	10	4
1	2	60	
2	1	20	1
3	1		20
計	8	123	37

### 3 茶道具備品

平成5年度末の概況は次のとおり191点である。

掛物 淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、亮茶翁の二行書、千宗佐、千代尼

花入 胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原豈作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原豈作」

香合・香炉 「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰藤卯香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」

茶碗 唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原隆作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川良樂作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」

水指 信楽焼「高橋染齋作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作」、高麗「千漢鳳作」

薄茶器 沈金棗「安村稔作」

濃茶器 「13代酒井田柿右衛門作」

茶杓 「宗秦作」

風炉 利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉

釜 切合釜・竹紋縁口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲龍釜「高橋敬典作」、尻帳釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」

棚 竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板

火入 染付「12代今泉今右衛門作」

菓子器 唐津焼「13代太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼

建水 不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅

風炉先屏風 秋草蒼絵

炉縁 高台寺蒼絵「柴田利雄作」

曲湯桶 置炉、瓶掛、薔薇塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

平成 5 年度

佐賀県立美術館

## 美術館の沿革

- 昭和55年 3月 県政百周年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
- 昭和55年 4月 25日 佐賀県立美術館建設委員会設置。
- 12月 10日 安井建築設計事務所による基本設計採用。
- 昭和56年 3月 31日 安井建築設計事務所による実施設計採用。
- 10月 26日 佐賀県立美術館建設着工。
- 昭和58年 1月 31日 佐賀県立美術館建設完工。
- 4月 1日 佐賀県立美術館設置条例施行。  
佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行。  
佐賀県立美術館処務規則施行。
- 10月 7日 山口亮一氏遺作64点を山口三千也より寄贈受く。
- 10月 8日 佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開催。
- 昭和61年 9月 1日 石本秀雄氏遺作31点を遺族より寄贈受く。
- 昭和63年 9月 30日 佐賀県立美術館開館5周年記念展「田園風俗画展」開催。
- 平成 3年11月23日 佐賀県立美術館の開館来の懸案である扉を開放する。
- 平成 4年 8月11日 紀宮清子内親王殿下御視察。
- 平成 5年10月 8日 佐賀県立美術館開館10周年記念展「岡田三郎助展」開催。開館以来最高の入館者を記録した。
- 平成 6年 3月29日 古賀忠雄彫刻の森を開園。
- 以上のはか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。  
ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

## 規模および施設

構 造	鉄筋コンクリート造	一階建	一部二階建	
規 模	敷地面積	7,986m <sup>2</sup>		
	建築面積	3,644m <sup>2</sup>		
	延床面積	4,238m <sup>2</sup>		
施 設	1号展示室	204m <sup>2</sup>	倉 庫	5 m <sup>2</sup>
	2号展示室	230m <sup>2</sup>	ホー ル	529m <sup>2</sup>
	3号展示室	250m <sup>2</sup>	和樂室・洋楽室	39m <sup>2</sup>
	4号展示室	366m <sup>2</sup>	準備室	18m <sup>2</sup>
	収蔵庫	319m <sup>2</sup>	映写室	12m <sup>2</sup>
	収蔵庫前室	26m <sup>2</sup>	機械室	47m <sup>2</sup>
	荷解場	120m <sup>2</sup>	倉 庫	13m <sup>2</sup>
	倉 庫	79m <sup>2</sup>	便 所	34m <sup>2</sup>
	画廊・準備室	137m <sup>2</sup>	ホワイエ	126m <sup>2</sup>
	研修室	135m <sup>2</sup>	休憩室	56m <sup>2</sup>
	事務室	148m <sup>2</sup>	便 所	93m <sup>2</sup>
	写真室・暗室	58m <sup>2</sup>	廊下・階段等	1,114m <sup>2</sup>
	機械室	80m <sup>2</sup>		

)

## 歳 出 予 算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(美術館費)			
1. 管理運営費	56,802	4. 企画展費	18,854
管理費	56,672	企画展開催費	17,206
会議及び研修費	130	企画展紹介費	1,648
2. 資料整備費	55,735	5. 常設展費	1,757
資料購入費	49,500	6. 普及活動費	3,071
資料整理費	6,007	7. 施設整備費	50,222
資料収集費	228	8. 彫刻の森(仮称)整備事業費	80,080
3. 調査研究費	150		
研究費	82		
調査費	68	計	266,671

## 事業の実施状況

## 1. 常設展

## 第Ⅰ期 平成4年度 新収蔵品展

会期：3月30日(火)～4月25日(日)

会場：美術館2・3号展示室

内容：前年度(平成4年度)あらたに収蔵した近代美術各部門の資料を紹介した。

## &lt;出品目録&gt;

作家名	題名	年代
<洋画>		
1 岡田三郎助	ローマの古橋	1930(昭和5)
2 岡田三郎助	裸婦(デッサン)	1936(昭和11)
3 高木 背水	静物(花)	1920年代
4 北島 浅一	フランスの女	1922(大正11)
5 古川 吉重	L-5-7	1982-83
6 古川 吉重	L-5-8	1987(昭和62)
7 古川 吉重	無題	1969-70
8 吉田 西縕	赤と木の構成	1991(平成3)
9 井手 誠一	神戸	1968(昭和43)
10 井手 誠一	長崎の山と海(右)	1965(昭和40)
11 井手 誠一	長崎の山と海(緑)	1965(昭和40)
12 井手 誠一	長崎の山と海(左)	1965(昭和40)
13 井手 誠一	まどろみ(マリアズマ像)	1977(昭和52)
14 吉武 研司	肖像一ふたり	1982(昭和57)
<版画>		
15 牧野 宗則	五彩の海	1991(平成3)
16 牧野 宗則	むらさきの風	1991(平成3)
17 牧野 宗則	創世	1992(平成4)
<県展優秀作品>		
18 横木 淳子	ひととき	1992(平成4)
19 牛丸 和人	輪廻の回廊	1992(平成4)
20 角 孝政	乞食行脚	1992(平成4)
21 大槻 容子	鄭紀詩	1992(平成4)
22 古賀 宣義	叢のティタイム	1992(平成4)
23 朝重 利文	JAPAN COMPUTER	1992(平成4)
GRAPHICS(I)(II)		

## &lt;金 工&gt;

1 石田英一	鍍金仏 迦陵頻伽	1949(昭和24)
2 石田英一	鍍金一輪差	1930年代
3 石田英一	鍍金建水	1930年代
4 石田英一	鍍金 三宝燭台	1925(大正14)
5 石田英一	鍍金置物 空	c.1900(明治33頃)
6 石田英一	鍍金帶留 文鳥	1934(昭和9)
7 石田英一	鍍金帶留 松	1930年代
8 石田英一	鍍金帶留 金魚	1930年代
9 石田英一	鍍金帶留 薔薇	1930年代
10 石田英一	カフス鉗「誠・仁」	1930年代
11 石田英一	鍍金火箸 大鉈豆	1930年代
12 石田英一	自作印章(4種)	制作年不明
13 松尾忠次	金工 作 品	1964(昭和39)
14 松尾忠次	金工 双 魚	1985(昭和60)
<染 色>		
15 小川泰彦	染色屏風 春近し	1964(昭和39)
16 小川泰彦	染色屏風 深 蒼	1967(昭和42)
17 小川泰彦	染色屏風 有明の宿	1980(昭和55)
<鍋島綾通 ほか>		
18 鍋島綾通	蟹牡丹文	明治前期
19 鍋島綾通	蟹牡丹文(2枚)	明治後期～大正時代
20 鍋島綾通	蟹牡丹文(2枚)	明治後期～大正時代
21 鍋島綾通	図案集(厚生舎:1組13枚)	明治後期～大正時代
22 堀 綾通	蟹牡丹文(2枚)	大正時代～昭和前期
23 堀 綾通	蔓蟹牡丹文(2枚)	大正時代～昭和前期
24 堀 綾通	花菱格子文(2枚)	大正時代～昭和前期
25 堀 綾通	唐花詰文(2枚)	昭和前期
26 堀 綾通	唐花詰文	昭和前期
27 堀 綾通	亀甲に花菱文	昭和前期か
28 堀 綾通	唐花繫文(半幅両面織り)	昭和前期か
29 赤穂綾通	唐花格子文	明治中期～後期
30 赤穂綾通	蟹牡丹文	大正時代～昭和前期
31 赤穂綾通	利劍文	大正時代～昭和前期
32 赤穂綾通	市松に二つ巴・卍文(2枚)	大正時代～昭和前期
33 赤穂綾通	市松に菊十字文(2枚)	昭和20～30年代
34 赤穂綾通	牡丹に鳳凰文	昭和前期
35 赤穂綾通	南天文	昭和前期

## 第Ⅱ期

## 情 感 と 筆 触

会 期：8月6日（金）～8月29日（日）

会 場：美術館2・3号展示室

内 容：所蔵品のなかから、「画家の心情」が筆先に直接的に表現された作品を展示了。物故者の鍋島、江口、井手のほか、現在活躍中の古川、吉武の作品を展示了。

## 〈作品目録〉

作家名	題名	年代
1 鍋島紀雄	釣り人	
2〃	山麓	1952(昭和27)
3〃	山空碧水流	1962(昭和37)
4〃	白花の行方	1962(昭和37)
5〃	赤い船	1965(昭和40)
6〃	海島天然	1966(昭和41)
7〃	りんご	— 1968(昭和43)
8 江口 良	作品 E	1958(昭和33)
9〃	仮説	1961(昭和36)
10〃	扉	1961(昭和36)
11〃	接吻	1967(昭和42)
12〃	入江	1978(昭和53)
13 井手誠一	風景日本海	1979(昭和54)
14〃	長崎の山と海(右)	1965(昭和40)
15〃	長崎の山と海(緑)	1965(昭和40)
16〃	長崎の山と海(左)	1965(昭和40)
17〃	神戸	1965(昭和40)
18 古川吉重	L-57	1983(昭和58)
19〃	L-5-8	1987(昭和62)
20 吉武研司	肖像—恋人たち	1984(昭和59)
21〃	肖像—熱さのせい	1984(昭和59)
22〃	肖像—虫の出る日	1985(昭和60)

## 第Ⅲ期

## ペルナール・ビュッフェ 銅版画

会 期：11月19日（金）～12月23日（木）

会 場：美術館2・3号展示室

内 容：フランスの画家、ペルナール・ビュッフェの銅版画（ドライポイント）から、ロートレアモンの散文詩集『マルドロールの歌』挿画、シラノ・ド・ベルジュラックの『日月両世界空想旅行』挿画、ジャン・ショノの『キリストの受難』挿画など33点、博物誌をテーマに8点、肖像画など4点、風景画8点を展示了。全54点（うち彩色4点）。

## 〈作品目録〉

題名	制作年
1 ロートレアモンの散文詩集 『マルドロールの歌』挿画 (16点／125より) 1952	
2 シラノ・ド・ベルジュラックの 『日月両世界空想旅行』挿画 (10点／20より) (7点／21より) 1958	
3 ジャン・ショノの『キリストの受難』挿画 (7点／21より) 1954	
4 聖なる顔 1953	
5 雄鶏 1959	
6 蟹『サン・カスト』挿画より 1962	
7 かもしか 1962	
8 魚 1962	
9 あじさし 1964	
10 鳥の骸骨 1964	
11 昆虫(青) 1964	
12 昆虫(茶) 1964	
13 間牛士 II 1961	
14 日覆帽『サン・カスト』挿画より 1962	
15 ダニー 1964	
16 間牛士 1967	
17 サン・マロの躊躇船『サン・カスト』挿画より 1962	
18 鐘樓 1962	
19 ソワッソンの運河 1964	
20 ポストゥ・ホテル 1965	
21 谷間の館 1965	
22 エルキ近郊 1965	
23 沼地の海岸 1966	
24 蟻漁船 1966	

## 第IV期 近代洋画

## 日本近代洋画と白馬会

会期：12月26日(日)

1月5日(水)～3月21日(月)

会場：美術館2・3号展示室

内容：日本近代洋画の先駆者百武兼行と1896年(明治29)創設の白馬会創立会員のうち、黒田清輝、久米桂一郎、小代為重、岡田三郎助、藤島武二らの作品を、所蔵品(寄託を含む)によって紹介した。

なお、今回の展示ではとくに白馬会研究所で学んだ高木背水にスポットを当て、平成5年度購入し、また寄託を受けた背水の代表作品を公開した。

## &lt;出品目録&gt;

## 百武兼行(1842～1884)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 城のある風景     | 1876(明治9)    |
| 2 耕作         | c.1876(明治11) |
| 3 バーナード城 下絵  | c.1878(明治11) |
| 4 老婦人像       | c.1879(明治12) |
| 5 マンドリンを持つ少女 | 1879(明治12)   |
| 6 タンパリンを持つ少女 | c.1881(明治14) |

## 小代為重(1861～1951)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 7 少女      | 1897(明治30) |
| 8 シンガポール  | 1900(明治33) |
| 9 スエズ運河   | 1900(明治33) |
| 10 テームズ河畔 | 1900(明治33) |

## 黒田清輝(1866～1924)

- |          |            |
|----------|------------|
| 11 画室内   | 1889(明治22) |
| 12 小代為重像 | 1897(明治30) |

## 久米桂一郎(1866～1934)

- |            |            |
|------------|------------|
| 13 京都加茂川の景 | 1893(明治26) |
| 14 子供のいる風景 | 1894(明治28) |
| 15 残曛 下絵   | 1898(明治31) |

## 藤島武二(1867～1943)

- |         |           |
|---------|-----------|
| 16 老婦人像 | 1907-09   |
| 17 裸婦   | 大正時代      |
| 18 裸婦   | 1920年代    |
| 19 台湾娘  | 1933(昭和8) |

## 18 蘇州河激戦の跡

c.1938(昭和13)

## 岡田三郎助(1869～1939)

- |          |            |
|----------|------------|
| 21 矢調べ   | 1893(明治26) |
| 22 西洋婦人像 | 1900(明治33) |
| 23 若き娘の顔 | 1913(大正2)  |
| 24 花野    | 1917(大正6)  |
| 25 薔薇    | 1931(昭和6)  |
| 26 淀々園にて | 1935(昭和10) |
| 27 伊豆山   | 1935(昭和10) |

## 中沢弘光(1874～1964)

- |         |               |
|---------|---------------|
| 28 奈良風景 | 年代不詳          |
| 29 奈良公園 | 1920(大正9)     |
| 30 舞妓   | c.1955(昭和30)  |
| 31 婦人像  | c.1957(昭和30)か |

## 高木背水(1874～1943)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 32 緑蔭     | 1911(明治44)  |
| 33 英国風景   | 1911(明治44)  |
| 34 春雨     | 1912(明治45)  |
| 35 永田町馬場  | 大正初頃        |
| 36 婦人肖像   | c.1915(大正4) |
| 37 羅馬公園   | c.1920(大正9) |
| 38 佐賀城籠の門 | 1936(明治11)  |
| 39 農家の朝   | 1941(昭和16)  |
| 40 佐賀風景   | 1910(明治43)  |
| 41 朝日     | 1910(明治43)  |

工芸 ほか 1号B展示室

第Ⅰ期：平成4年度収蔵品展にともなう

第Ⅱ期 染織 NOW

会期 5月1日(土)～6月13日(日)

会場：美術館1号B展示室

内容：江戸時代に佐賀で生まれた染織工芸、木綿の敷物「鍋島綾通」と「佐賀錦」の二つを、現代作の中に再確認してみた。吉島敷物(現在は久留米市)製の現代の鍋島綾通4点と、相島正彦(1992～)作の佐賀錦15点。

## &lt;出品目録&gt;

作家名	題名	年代
1 吉島敷物	鍋島綾通蟹牡丹文	1985(昭和60)
2 吉島敷物	鍋島綾通蔓牡丹唐草文	1984(昭和59)
3 吉島敷物	鍋島綾通松梅文	
1989(平成1)制作／鈴田照次デザイン	1972(昭和47)	
4 吉島敷物	鍋島綾通唐環文	
1990(平成2)制作／鈴田照次デザイン	1972(昭和47)	
5 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 流水	
		1972(昭和47)
6 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 霧	
		1973(昭和48)

第20回日本伝統工芸展・作家寄贈

7 相島正彦	佐賀錦三つ折り小袱紗入れ 和(なぎ)	
		1974(昭和49)
8 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 晚	
		1975(昭和50)
9 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 氷紋	
		1975(昭和50)
10 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 菱	
		1976(昭和51)
11. 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 精魂	
		1976(昭和51)
12. 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 藤	
		1977(昭和52)
13. 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 鶴瑞	
		1977(昭和52)
14. 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 潛	
		1978(昭和53)

15 相島正彦	佐賀錦帶 彩光	1978(昭和53)
16 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 祈念	
		1977(昭和52)
17 相島正彦	佐賀錦三つ折りバッグ 彩光	
		1978(昭和53)
18 相島正彦	佐賀錦裂 雷紋	1987(昭和62)
19 相島正彦	佐賀錦裂 大黄河	1987(昭和62)

## 第Ⅲ期 現代の版画師 牧野宗則(まきのむねのり)

会期：1993年6月18日(金)～7月18日(日)

会場：美術館1号B展示室

内容：現代の浮世絵師として幻想的な木版画を創作する牧野宗則の作品から、昭和60年代の有明海を主題にしたシリーズなど7点を紹介します。

## &lt;出品目録&gt;

作家名	題名	年代
1 牧野宗則	有明天界	1989(平成1)
2 牧野宗則	光る道	1985(昭和60)
3 牧野宗則	夢明り	1986(昭和61)
4 牧野宗則	久くおん遠	1986(昭和61)
5 牧野宗則	光こうみよう明	1989(平成1)
6 牧野宗則	赤い風	1990(平成2)
7 牧野宗則	祈いのりり	1991(平成3)

## 第Ⅳ期 夏の輝き ガラスの涼

会期：7月21日(水)～8月29日(日)

会場：美術館1号B展示室

内容：佐賀硝子は幕末に、鍋島藩の精煉方(せいれんかた)のガラス工房から始まり、明治時代には新産業として一時代を築いている。精煉方の硝子職人、副島源一郎を祖父に、父から伝統の宙吹きの技法を受け継ぐ副島太郎(1948～)は、現代的な創作ガラスの作家として活躍している。館蔵作品5点と、参考資料に明治時代の佐賀硝子(3件4点)をあわせて紹介する。

## &lt;出品目録&gt;

作家名	題名	年代
1 副島太郎	瑠璃色器	1982(昭和57)
2 副島太郎	紅彩	1984(昭和59)
3 副島太郎	夜明け	1985(昭和60)

- 4 副島太郎 湖水 1990(平成2)  
 5 副島太郎 龍潜む沼 1990(平成2)
- 〈参考資料〉
- 6 佐賀硝子 脚付容器・蓋(2) 佐賀市・精煉社 明治初期~20年頃  
 7 佐賀硝子 金魚鉢(平鉢) 佐賀市・精煉社 明治初期~20年頃  
 8 佐賀硝子 金魚鉢(深鉢) 佐賀市・精煉社 明治初期~20年頃

## 第VII期 風景の記憶 三根霞郷・池田幸太郎

## 会期

前期：12月26日(日)および

1月5日(水)~2月13日(日)

後期：2月15日(火)~3月21日(月・祝日)

会場：美術館1号B展示室

内容：佐賀生まれの画家たち、三根霞郷と池田幸太郎の描いた日本の風景画、明治から昭和のはじめにかけてのなつかしい記憶の中の風景を再現した。前期は三根霞郷作品から5点、後期は池田幸太郎作品3点。

## 第V期 古賀忠雄 デッサンと形

会期：11月19日(金)~12月23日(木)

会場：美術館1号B展示室

内容：彫刻家古賀忠雄(1903~79)は佐賀市生まれ、有田工業学校をへて東京美術学校の彫刻科へ進学した。日展の前身にあたる帝展に入選して、文展、日展で活躍し、昭和42年(1967)日本芸術院会員となる。デッサン10点、陶磁器2点、彫刻6点(ブロンズ5点、石膏1点)の合計18点。

## 〈出品目録〉

題名	年代
1 テッサン 馬に乗る人	不詳
2 テッサン 牛	不詳
3 テッサン いきる(下絵)	1961(昭和36)頃
4 テッサン 三尊仏	1970(昭和45)頃
5 テッサン 人のいる風景	不詳
6 テッサン 馬と人	1959(昭和34)
7 テッサン 母と子	不詳
8 テッサン 黒のイメージ	不詳
9 テッサン 黒のイメージ	不詳
10 テッサン 黒のイメージ	不詳
11 大皿 三尊仏	1970(昭和45)頃
12 大皿 少女の世界	1972(昭和47)
13 愛と平和の像	1956(昭和31)
14 駒	1953(昭和23)
15 聖牛	1970(昭和45)
16 子牛	不詳
17 神童馬に乗る	1975(昭和50)
18 神童馬に乗る	1975(昭和50)

## 〈出品目録〉

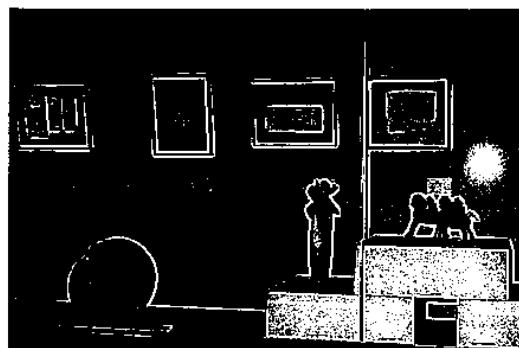
## 作家名 題名 年代

## 〈前期 三根霞郷〉

1 三根霞郷	白梅	1935
2 三根霞郷	茄子畠	1941
3 三根霞郷	農村	1944
4 三根霞郷	農村	1944
5 三根霞郷	晩秋の雜木林	1944

## 〈後期 池田幸太郎〉

1 池田幸太郎	山の手風景	1926
2 池田幸太郎	朝市	1927
3 池田幸太郎	隅田川	1933



古賀忠雄デッサンと形より

## 2. 企画展

名 称：「開館10周年記念 日本近代洋画の栄華  
—岡田三郎助一」展

会 期：10月8日（金）～11月14日（日）

会 場：美術館2・3・4号展示室

主 旨：岡田三郎助（1869・明治2～1939・昭和14）は、明治・大正・昭和の三代にわたり美術界のリーダーとして、また画壇の重鎮として、日本の近代洋画史においておおきな役割を果たした。一般には、洋画の分野において、藤島武二とともにわが国最初の文化勲章受章者として、その功績は大いに認められるところです。

本展覧会は、その遺作の中から、名作を中心とし、これまで紹介されなかった作品を一堂に展示、公開した。油彩画、岩絵の具作品120余点。デッサン、遺品、関係資料など総点数180点で構成した。本展において、岡田についてこれまで言われてきたように「典雅な画風」ということの内容を再認識することができた。



開場式 知事挨拶



開場式 作品解説

図録：A4版変形（27×21センチ）

160頁（カラー96頁）

論考・三輪英夫「佐賀の生んだ巨匠

—岡田三郎助一」

・橋富博喜「岡田三郎助の壁画制作

—九つのミューズを中心に—」

・松本誠一「岡田三郎助の岩絵具作品」

・宮原香苗「岡田三郎助と時代の工芸

—画家そして工芸家の眼—」

講演会：10月11日（月）

美術館ホール（487席）

国立西洋美術館長 高階秀爾氏

「あやめの夢—岡田三郎助の人物画をめぐって—」



展示風景（資料コーナー）

### 3. 「古賀忠雄 彫刻の森」整備事業

開園：3月29日（火）

目的：本県出身の故古賀忠雄（1903～1979）の偉業をたたえ、遺作を県立博物館・美術館が所在する城内公園に展示し、周辺の環境を芸術空間として整備することにより、景観の向上や文化施設広場として芸術性の高い場所として充実を図るとともに、我が国彫刻界の代表作家のひとりであった古賀忠雄作品のすばらしさを多くの県民に鑑賞していただく。

事業実施：平成4年度 基本構想コンサルタント委託  
および先進地調査等。

平成5年度 整備設計委託、整備工事。

場所：博物館、美術館周辺の佐賀城公園および南堀の散策路、シャボン玉公園。

点数：26点（内既設1点）



「彫刻の森」案内板



〈問い合わせ〉



〈浴後〉



〈語らい〉

## 4. 普及活動

### (1) 資料の刊行

「近代洋画の栄華—岡田三郎助展」図録  
同名企画展にともない刊行。  
カラー図版95頁、ほかモノクロ図版、解説など全  
158頁。  
A4版変形、ロイヤルアート紙。  
印刷部数 900部。

\* 館報、年報、調査研究書については、博物館を参照。

### (2) 実技講座

内 容 第10回石膏デッサン教室  
講 師 九州女子短期大学教授 深川善次氏  
会 期 平成5年7月19日（月）～23日（金）  
（5日間、午後2時～4時）  
会 場 美術館画廊および研修室  
受講者 26名

### (3) 研究講座

記念講演会  
演 題 「あやめの夢—岡田三郎助の人物画をめぐって」  
講 師 国立西洋美術館長 高階秀爾氏  
日 時 平成5年10月11日（月・振替休日）  
午後2時～4時  
会 場 佐賀県立美術館ホール  
聴講者 480人

### (4) 館外普及活動

8月24日～9月10日 「日本近代洋画の栄華—岡田  
三郎助展」普及

### (5) 映画会

平成5年度夏休み親と子の映画会

期 日 平成5年8月7日（土）・8日（日）

会 場 佐賀県立美術館ホール

上映時間 10:30～15:10

上映題目 「アンパンマンとばいきんまん」

「長靴下のピッピ」

「京子そのやさしさ」

「星の子チョビン」

参加者 468人（土）・335人（日）



「日本近代洋画の栄華—岡田三郎助展」図録（表紙）



記念講演会 国立西洋美術館長 高階秀爾氏



第10回石膏アッサン教室の模様

## 5. 資料調査（美術館）

平成5年

5月18日 書資料調査（東京都）

学芸員 福井尚寿

11月9日～ ホノルル美術館所蔵品調査（アメリカ合衆国）

学芸員 福井尚寿

平成6年

2月21日～ 次年度企画展調査（岡山・愛知・東京・神奈川）

学芸員 福井尚寿

## 6. 展覧会観覧状況

展 覧 会 名	個 人			団 体			観 覧 料	
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高
第10回佐賀県写真協会展	1,198	3	46					
悟竹・蒼海頸彰 第1回佐賀新聞書道展	2,360	245	252					
第77回二科展	6,055	614	944		440	552		
第76回佐賀美術協会展	2,646	430	332			157		
平木浮世絵美術館所蔵 トイソノイエ・ビサコテーク美術館開朝記念 大 浮 世 絵 展	7,854	945	543	153	362	565		
第6回九州国画会写真部佐賀支部展	545	47	51					
第59回東光展	1,771	447	307					
第21回七夕書道展	1,001		1,005					
A I S 展	440	55	146					
第18回佐賀県書作家協会展	854	22	10					
第14回九州新工芸展	917	40	115					
第43回佐賀県美術展	4,332	626	412	58	825	305		
第5回佐賀県高等学校 総合文化祭 美術・工芸展	748	1,095	179		120	79		
第5回佐賀県高等学校 総合文化祭 書道展	435	228	38		525	30		
日本近代洋画の栄華 岡田三郎助展	9,840	191		227	119		106	1,1,046
第13回日韓文化交流展	232	28	34					
第7回蒼松会展	689		2					
第34回佐賀県学童美術展	2,373	10	26	1,261	23		392	
第34回佐賀大学教育学部 美術・工芸科総合展	539	116	57	52	20	42	383	
第14回佐賀新聞学生書道展	323		24	168				
第16回さが行動展	512	21	36					
第16回二紀佐賀グループ展	560	27	60					
第8回総合美術ハチロク展	1,206	61	143					
第38回佐賀大学教育学部 美術・工芸科卒業制作展	489	262	27			40		
第10回佐賀水墨画会展	1,151	24	10					
合 計	49,070	5,644	6,173	481	2,433	2,503	106	1,047

免除 中・小	招待者	優待者	合計	開館日数	一日平均	会期期間	会場	主催者
			1,247	6	208	4/13(木)~4/18(火)	4号	佐賀県写真協会
	30		2,887	8	361	5/1(土)~5/9(日)	2・3・4号	佐賀新聞社 社長 中尾 清一郎
	3,079	851	12,535	15	836	5/14(金)~5/30(日)	2・3・4号	佐賀新聞社 社長 中尾 清一郎
	4		3,569	10	357	6/3(水)~6/13(日)	2・3・4号	佐賀美術協会 理事長 吉田 進一
	7,359		17,781	27	659	6/18(金)~7/18(日)	2・3・4号	毎日新聞西部本社 事業部長 西 東靖 博
			643	5	129	7/21(木)~7/25(日)	4号	九州国画会写真部 石崎 政秋
	1,008		3,533	6	589	7/27(金)~8/1(日)	2・3・4号	佐賀新聞社 社長 中尾 清一郎
			2,006	5	401	8/4(金)~8/8(火)	4号	佐賀県書道教育連盟 会長 米倉 信義
	9		650	6	108	8/10(日)~8/15(日)	4号	平江 潔
			886	5	177	8/18(木)~8/22(日)	4号	佐賀県書作家協会 会長 池田 玄陽
			1,072	6	179	8/24(土)~8/29(日)	4号	九州新工芸家連盟 会長 小川 泰彦
	1,694		8,252	8	1,032	9/11(土)~9/19(日)	2・3・4号	佐賀県文化課 課長 市丸 利幸
			2,221	5	444	9/22(火)~9/26(日)	2・3・4号	佐賀県文化課 課長 市丸 利幸
			1,256	6	209	9/28(木)~10/3(火)	2・3・4号	佐賀県文化課 課長 市丸 利幸
2,876	3,709	69	18,184	33	551	10/8(金)~11/14(日)	2・3・4号	佐賀県立美術館
	45		339	4	85	11/18(木)~11/21(日)	4号	佐賀新聞社 社長 中尾 清一郎
			691	6	115	11/23(木)~11/28(火)	4号	城村 志津子
	193		4,278	6	713	11/30(木)~12/5(火)	4号	佐賀県造形教育研究会 会長 深草 廣平
			1,209	6	202	12/7(木)~12/12(火)	4号	佐賀大学教育学部 部長 米倉 利昭
			515	6	86	12/14(木)~12/19(火)	4号	佐賀新聞社 社長 中尾 清一郎
			569	6	95	1/11(木)~1/16(火)	4号	竹下 雅明
	51		698	6	116	2/8(木)~2/13(火)	4号	緒方俊昭
			1,410	5	282	2/16(木)~2/20(火)	4号	野中瑛穎
			818	6	136	2/22(木)~2/27(火)	4号	佐賀大学教育学部長
			1,185	6	198	3/1(木)~3/6(火)	4号	佐賀水墨画会 野方翠芳
2,876	17,181	920	88,434	208	425			

## 7. ホール・画廊・研修室

## ホール

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 剧	洋舞・邦舞	映写会	その他	備 考
4	9	2,375	8				1	
5	8	3,552	4	1			3	
6	7	2,085	5				2	
7	13	7,214	8	2	1		2	
8	12	3,099	10			1	1	
9	10	2,971	6	1			3	
10	14	5,185	6	1	1	1	5	
11	16	4,340	8	3		2	3	
12	12	3,623	9	2			1	
1	3	914		1		1	1	
2	2	406	2					
3	14	3,797	11	1		1	1	
計	120	39,561	77	12	2	6	23	

## 画廊・研修室

月別	展覧会			そ の 他
	利用団体数	延会期日数	入場者数	
4	5	15	1,559	
5	2	16	2,081	
6	2	3	310	
7	3	21	3,364	
8	2	12	2,293	
9	1	9	3,020	
10	5	22	2,920	
11	4	19	2,206	
12	4	29	4,113	
1	5	24	1,423	
2	5	30	4,455	
3	7	37	3,752	
計	45	237	31,496	

## 資料の概要

佐賀県立美術館

洋画

### 1. 新収蔵（購入・寄贈）資料

日本画



1 F-20-2-1

高取稚成 TAKATORI, Wakanari  
1867~1935  
伊衡勅使の図  
Scene of the Ambassador Ikō  
明治中~後期  
絹本着色 116.7×41.3  
左下「藤原稚成繪之」印  
平成 5年度 購入 9463



1 F-20-3-1

五百城文哉 IOKI, Bunsai  
1863~1906  
風景  
Landscape  
明治20年代  
油彩・キャンバス 39.9×73.0  
右下サイン、朱文方印  
平成 5年度 購入 9462



2 F-20-3-1

高木背水 TAKAGI, Haisui  
1877~1943  
婦人肖像  
Portrait of a Woman  
1915 (大正 4) 境  
油彩・キャンバス 96.6×71.3  
平成 5年度 購入 9457



3 F-20-3-1

高木背水 TAKAGI, Haisui  
1877~1943  
英國風景  
Landscape of England  
1911 (明治44)  
油彩・キャンバス 35.5×50.9  
左下「S. Takagi 1911 Loughton」  
平成 5年度 購入 9502



4 F-20-3-1  
 北島浅一 KITAJIMA, Asaichi  
 1887~1948  
 静物 (カーネーション)  
 Still Life:Carnations  
 1920年代  
 油彩・キャンバス 53.1×45.2  
 右下「A-Kitajima」  
 平成5年度 購入 9498



5 F-20-3-1  
 田中太郎 TANAKA, Taro  
 不詳  
 茶の前  
 Before the Tea Ceremony  
 1949(昭和24)  
 油彩・キャンバス 80.3×100.0  
 右下「田中寛」  
 平成5年度 寄贈 9456



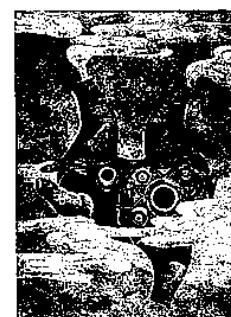
6 F-20-3-1  
 吉武研司 YOSHITAKE, Kenji  
 1948~  
 絵日記—外国の歌をきいたー  
 Diary:Listening the Foreign Songs  
 1993(平成5)  
 混合技法・紙 57.0×76.5  
 右下「Ken 1993」  
 平成5年度 寄贈 9465



7 F-20-3-1  
 吉武研司 YOSHITAKE, Kenji  
 1948~  
 絵日記—雨々ふれふれー  
 Diary:Rain, Rain, Rain  
 1991(平成3)  
 混合技法・紙 120.0×102.0  
 右下「Ken 1991」  
 平成5年度 寄贈 9466

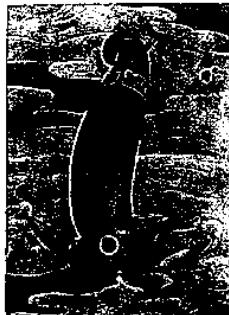


8 F-20-3-1  
 野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
 1964~1991  
 不詳(N-1)  
 Unknown(N-1)  
 1986(昭和61)  
 アクリル・板 29.8×29.8  
 平成5年度 購入 9503



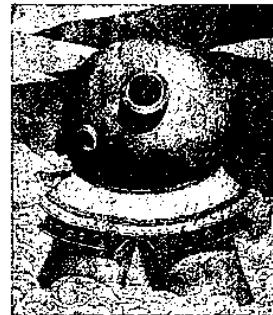
9 F-20-3-1  
 野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
 1964~1991  
 雲の製造 I (N-2)  
 Cloud-maker I (N-2)  
 1988(昭和63)  
 アクリル・板 103.0×72.8  
 平成5年度 購入 9504

## 洋 画



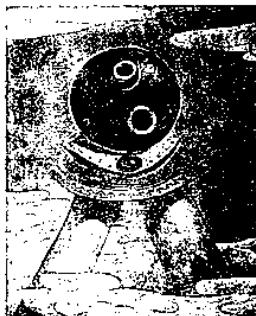
10 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
雲の製造 II (N- 3)  
Cloud-maker II (N- 3)  
1988 (昭和63)  
アクリル・板 103.0×72.8  
平成 5年度 購入 9505



13 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
不 詳 (N- 6)  
Unknown (N- 6)  
1988 (昭和63)  
アクリル・板 53.0×45.5  
平成 5年度 購入 9508



11 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
雲の柩 II (N- 4)  
Cloud Coffin II (N- 4)  
1988 (昭和63)  
アクリル・板 72.4×60.4  
平成 5年度 購入 9506



14 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
不 詳 (N- 7)  
Unknown (N- 7)  
1988 (昭和63)  
アクリル・板 59.4×42.0  
平成 5年度 購入 9509



12 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
不 詳 (N- 5)  
Unknown (N- 5)  
1988 (昭和63)  
アクリル・板 53.0×45.5  
平成 5年度 購入 9507



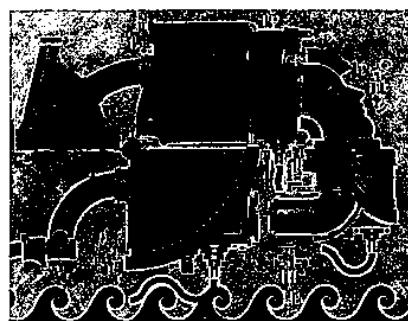
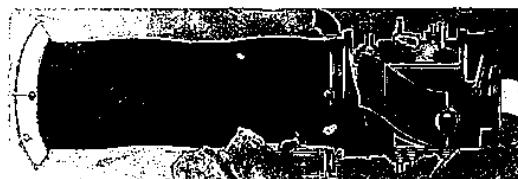
15 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
不 詳 (N- 8)  
Unknown (N- 8)  
1989 (昭和64)  
アクリル・板 25.7×72.8  
平成 5年度 購入 9510



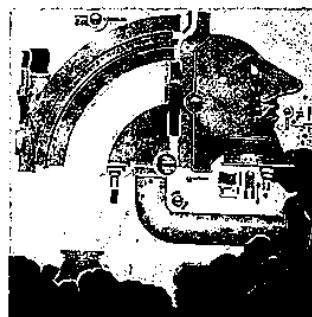
16 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA,Akiyoshi  
1964~1991  
不詳 (N-9)  
Unknown(N-9)  
1989 (昭和64)  
アクリル・板 72.0×272.3  
平成5年度 購入 9511



19 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA,Akiyoshi  
1964~1991  
Amosu Norle (N-12)  
Amosu Norle (N-12)  
1990 (平成1)  
アクリル・板 91.5×115.0  
平成5年度 購入 9514



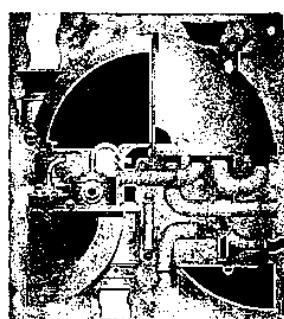
17 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA,Akiyoshi  
1964~1991  
不詳 (N-10)  
Unknown(N-10)  
1990 (平成1)  
アクリル・板 27.0×77.5  
平成5年度 購入 9512



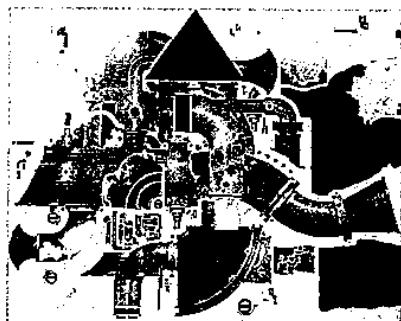
18 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA,Akiyoshi  
1964~1991  
不詳 (N-11)  
Unknown(N-11)  
1990 (平成1)  
アクリル・板 30.0×30.0  
平成5年度 購入 9513



21 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA,Akiyoshi  
1964~1991  
不詳 (N-14)  
Unknown(N-14)  
1990 (平成1)  
アクリル・板 58.0×52.0  
平成5年度 購入 9516



22 F-20-3-1

野村昭嘉 NOMURA, Akiyoshi  
1964~1991  
Oeret (N-15)  
Oeret (N-15)  
1990 (平成 1)  
アクリル・板 130.5×162.5  
平成 5年度 購入 9517

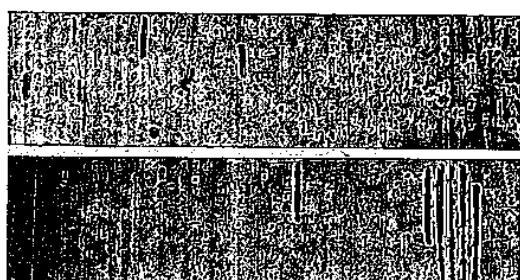
修羅餓鬼



wallis.f

1 F-20-4-1

古沢岩美 FURUSAWA, Iwami  
1912~  
銅版画集「修羅餓鬼」  
Book of Print  
1960~1993  
紙・エッチング・アクアチント 38.0×28.7  
平成 5年度 購入 9501



1 F-50

黒田清輝 KURODA, Seiki  
1866~1924  
黒田清輝書簡  
Letter from Kuroda Seiki  
1898 (明治31)  
封筒付 16.1×131.0  
平成 5年度 購入 9499



1 F-30-4

古賀 晟      KOGA, Akira  
1941~  
夢路(嫁ぐ日)  
Bridal day  
1992(平成4)  
ブロンズ      H176.0  
平成5年度 購入 9500



1 F-40-1

石田英一      ISHIDA, Eiichi  
1876~1960  
鎌金 小雀花瓶  
Vase with Little Sparrows  
c.1935~1955  
真鍮・銅 脚径17.7 高さ19.7  
底部に彫銘「英咲」  
平成5年度 購入 9483



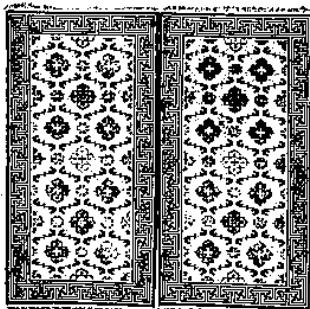
2 F-40-1

石田英一      ISHIDA, Eiichi  
1876~1960  
鎌金 鳥形花生  
Bird-shaped Vase  
1947(昭和22)  
真鍮・金加飾 脚径24.8×10.3 高さ16.9  
背面に彫銘「英咲」  
平成5年度 購入 9484



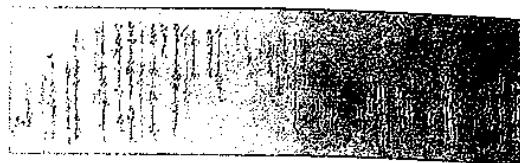
3 F-40-1

石田英一      ISHIDA, Eiichi  
1876~1960  
鎌金 佛  
Holy Figure kannon  
c.1925~1935  
真鍮・鎌金 脚径5.3×4.3 縦高20.0  
光背に彫銘「英一作」  
平成5年度 購入 9485



1 F-40-5

佐賀  
鍋島縞通 花十字文 一組(2)  
NABESHIMA Rugs:Flowery Cross Pattern  
大正時代  
木綿一疋・両房 184.2×95.7/5mm  
平成 5年度 寄贈 9488



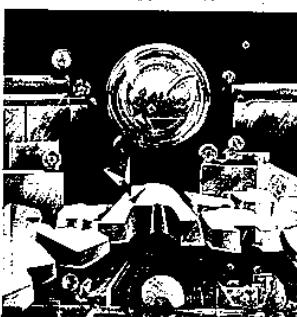
1 F-10-1

諫山翠仙 ISAYAMA,Suisen  
1939~  
三十六歌仙  
36 Poetical Saints  
1993 (平成 5)  
絹本着墨 48.0×170.5  
佐賀県議会議長賞  
平成 5年度 管理換 9478



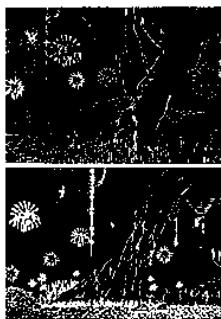
2 F-20-1-1

川原英子 KAWAHARA,Fusako  
1930~  
揺れる  
Ripple  
1993 (平成 5)  
紙・岩絵具 116.8×91.2  
文部大臣奨励賞  
平成 5年度 管理換 9480

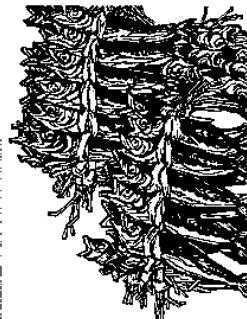


3 F-20-3-1

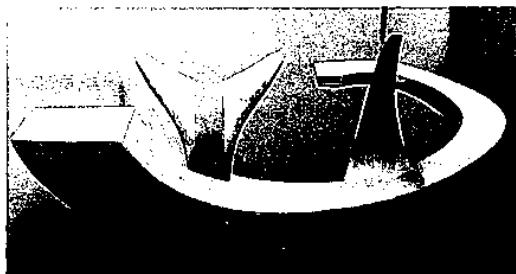
川本達也 KAWAMOTO,Tatsuya  
1941~  
移ろひゆくもの  
A Ruining  
1993 (平成 5)  
油彩・キャンバス 162.0×162.0  
佐賀県知事賞  
平成 5年度 管理換 9481



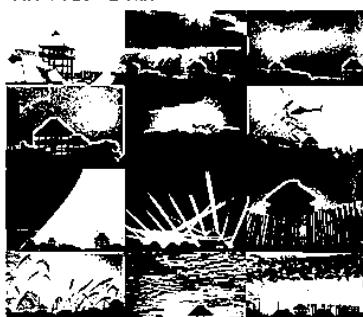
4 F-20-0  
北 朱里 KITA, Akari  
1975～  
ENVIRONMENTAL PROTECTION I + II  
(環境保護 I・II)  
1993 (平成 5)  
ポスター(デザイン) 72.8×102.9  
佐賀県議会議長賞  
平成 5年度 管理換 9476



7 F-40-5  
佐藤由美子 SATO, Yumiko  
1971～  
染色 朝市から IV  
Scene from Morning Market  
1993 (平成 5)  
木綿地・染料 145.2×111.8  
工芸2席 鶴島報效会賞  
平成 5年度 管理換 9477



5 F-30-1  
野田和弘 NODA, Kazuhiro  
1966～  
戯れる  
Playing  
1993 (平成 5)  
木  
佐賀県知事賞  
平成 5年度 管理換 9479



6 F-50  
平方寛九郎 HIRAKATA, Kankurō  
1926～  
吉野ヶ里  
Scenes of YOSHINO GARI  
1993 (平成 5)  
写真 (12枚貼り) 51.2×56.2  
佐賀県知事賞  
平成 5年度 管理換 9482

## 2. 寄託資料

資料名	数量	寄託者	備考
「新郷土」表紙絵及びカット絵	103	新郷土刊行協会	
立石春美「ピアノを弾く婦人」	1	武雄市 個人	
鍋島鋳通 蟹牡丹蝶文	1	神戸市 個人	

## 3. 資料の貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
山本芳翠「帆船」 1点	朝日新聞「山本芳翠の世界」展	H5.4.2~8.25
宵木繁「佐賀風景」 1点	日本経済新聞社「夭折の洋画家たち」展	H5.4.22~6.16
赤と木の構成 1点	「吉田西縫」個展	H5.4.6 ~5.17
岡田三郎助「矢調べ」ほか 25点	唐津市近代図書館 「日本近代洋画名品展」	H5.5.6 ~5.31
乞食行脚 1点	角孝政「角孝政」個展	H7.12~7.24
鍋島直大大礼服ほか 3点	霞会館「内なる開国」展	H5.7.17~11.17
岡田三郎助「大磯風景」ほか 2点	平塚市美術館「湘南の文学と美術」	H5.9.8 ~10.27
村岡平蔵作品 5点	小城町「村岡平蔵」展	H5.9.16~9.25
百武兼行「バーナード城下絵」ほか 2点	豊橋市美術館「近代洋画の歩み」展	H5.9.25~9.25
鈴田照次 松竹梅文小袖ほか 3点	鳥取県立博物館「工芸美術の華」展	H5.10.4~11.16
油彩画 13点	県総務部 新序舎展示	H6.1.31~7.1.31
ドレス 1点	京都服飾文化研究財団 「モードのジャポニスム」展	H6.3.9 ~

## 4. 購入図書

購入図書	発行書
ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	河出書房新社
東京美術学校校友会誌叢書 第1期	ゆまに書房
歴代鎮西志	青潮社
江戸城隙壁画の下絵	第一法規
若冲	紫紅社
耽奇漫録	吉川弘文館
現代のペルシャ錦	京都書店
司馬江漢	八坂書房
ペルツコレクション日本絵画	講談社
岡倉天心全集	平凡社
高村豊周文集	高村豊集文集刊行会
ガラス百科	ぎょうせい
歌舞伎衣裳	講談社
絵仏師の時代	中央公論美術出版
龍池会報告	ゆまに書房
琳派	紫紅社
琳派美術館	集英社
近世風俗画	淡交社

## 博物館・美術館職員名簿(平成6年4月1日現在)

課 名	職 名	氏 名	課 名	職 名	氏 名
館 長		山本 敏秋		学芸課長	中牟田 賢治
副館長		森 醇一朗		資料係長	蒲原 宏行
総務管理課	総務課長 (係長事務取扱)	菊池 文夫	学芸 資料 係	主査 (学芸員)	川副 義敦
	専門員	一丸 正美		学芸員	山崎 和文
	主査	小林 静枝		学芸員	竹下 正博
	主事	赤星 由季子		非常勤嘱託	今川 泰靖
	主事	石橋 邦広	企画普及 係	企画普及係長	松本 誠一
	事務員	坂井 卓次		主査 (学芸員)	宮原 香苗
	事務員	小石 武彦		主査 (学芸員)	福井 尚寿
	技術員	近藤 誠徃		主事	中原 正登
	非常勤嘱託	牟田 勝吉			計 21名

佐賀県立博物館 年報 第24号  
佐賀県立美術館

発行年月日 平成6年8月31日

編集・発行 〒840 佐賀市城内1-15-23

Tel 0952-24-3947

佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

印刷 日之出印刷株式会社